てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
25
まんが
山本サトシ
シナリオ
日下秀憲
©1995-2007 Nintendo
©2007 Pokémon
Creatures Inc. GAME FREAK inc.

■作者のことば

山本サトシ YAMAMOTO Satoshi
●やまもと さとし

いよいよ佳境に入った第５章。これまで点でしかなかった、それぞれのキャラがポケモンが、複雑な運命の糸でつながり始める！　ポケスペ史上最も劇的なドラマが展開するこの第25巻、心ゆくまでご堪能ください！

日下秀憲 KUSAKA Hidenori
●くさか ひでのり

23巻に付けたアンケートが返ってきました。これは皆さんのことが知りたくて、年齢やポケモンSP単行本を何巻所有しているかなどを質問し、集計するためのものでした。僕は分析が好きなので、集計結果から読み取れる年齢層の分布、学年誌と単行本の併読率etc、各データにもう夢中です。これらの結果を作品に活かしてますます頑張らねばと気合を入れています。協力してくださった皆さん、ありがとう。プレゼント当選者も選びましたのでお楽しみに…！

>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by MARUYAMA Tomomi (grafio)

てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
25
まんが
山本サトシ
シナリオ
日下秀憲
©2007 Pokémon
©1995-2007 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK Inc.

POCKET MONSTERS SPECIAL

25

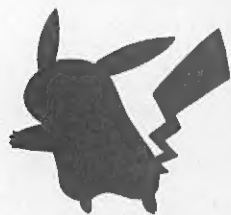
FIRE RED LEAF GREEN

Art Satoshi Yamamoto
Story Hidenori Kusaka

SPECIAL OBJECT
歴代ポケモン図鑑所有者たちとその活躍
カントー地方
レッド
イエロー
ブルー
グリーン
【第1章】
マサラタウンの少年・レッドはオーキド博士から受け取ったポケモン図鑑を手に、ポケモントレーナーの頂点を目ざし旅立つ。同じ目的のライバル・グリーンとのバトル、少女・ブルーとの出会い、ロケット団との死闘を経験して、レッドはポケモンリーグでの優勝を果たす。
【第2章】
2年後。突如レッドが失踪する事件で騒然とするオーキド研究所に、謎のトレーナー・イエローがやってきた。レッドの消息を追うイエローの前に、ワタルを頂点とするカ
オーキド博士

ントー四天王が立ちはだかる。スオウ島での決戦の末、イエローはカントー四天王の野望をくいとめた。

【第3章】

さらに1年後、ワカバタウンのポケモン屋敷で暮らすゴールドは、ウツギ研究所からワニノコを盗み出したシルバーを追って旅に出る。反目しあいながらも、やがて共闘することになるふたり。オーキド博士からポケモン図鑑完成の依頼を受けたクリスも合流し、R団残党を率いて暗躍する仮面の男の謀略をついに打ち砕いた。

【第4章】

ポケモンコンテストに情熱を燃やす少年・ルビーは、引っ越し先・ミシロタウンの新居を家出する。道中、野生児のサファイアと出会い「コンテスト全制覇」「ジム戦全制覇」をかけて80日間の冒険

競争がはじまる。その頃ホウエン地方では、アクア団とマグマ団による征服計画が進んでいた。その結果目ざめたグラードンとカイオーガにより、ホウエンは壊滅状態に陥る。が、ルビーとサファイアの決死の戦いにより、2匹はまた深い眠りへと落ちていった。

【第5章】

それから半年。ナナシマに出現したデオキシスに、レッドは完全敗北する。一時は自信を失ったレッドだが苦悩の末、再戦を決意。ミュウツーとも合流しトレーナータワー突入を果たした。が、タワー内には何重もの罠が。ロケット団首領・サカキはレッドらをタワーに足止めし、飛空艇でデオキシスが念視した地・トキワシティへ向かう！

POCKET MONSTERS SPECIAL 25

もくじ

第288話 …… 8
第289話 …… 30
第290話 …… 52
第291話 …… 66
第292話 …… 80
第293話 …… 95
第294話 …… 110
第295話 …… 125
第296話 …… 142
第297話 …… 160
第298話 …… 176

FIRE RED
LEAF GREEN

●第288話●

Pocket Monsters SPECIAL

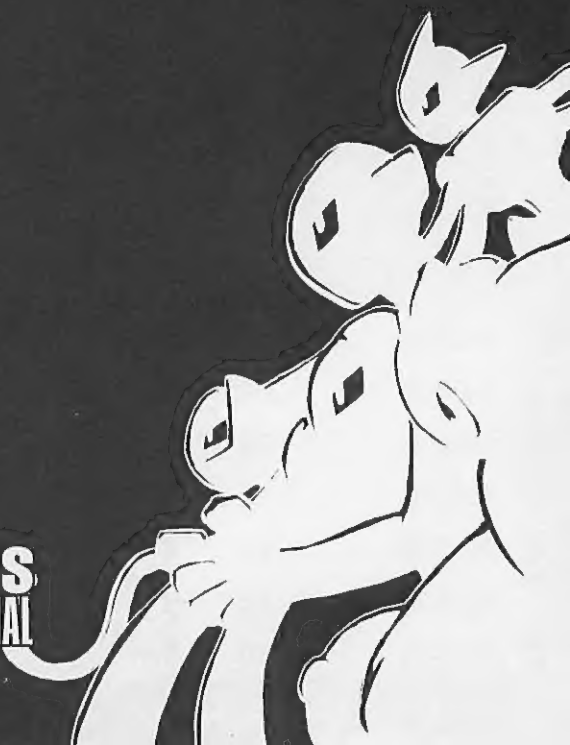
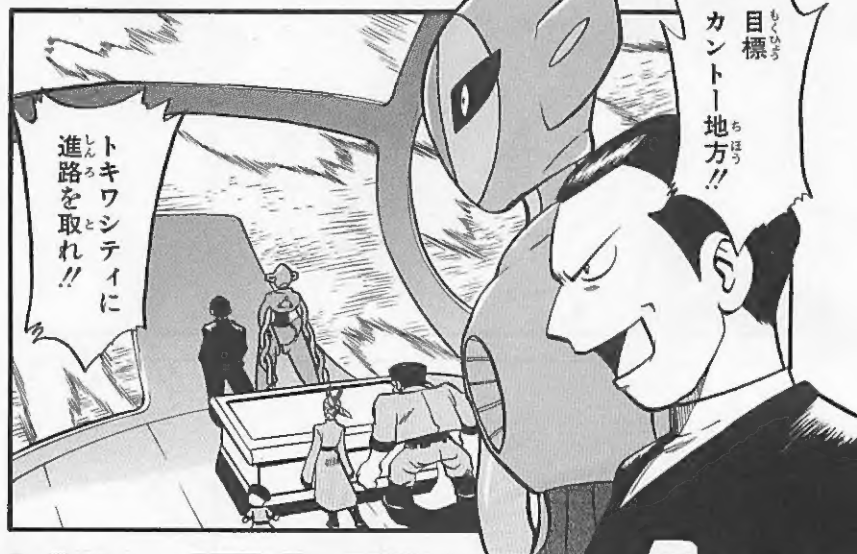
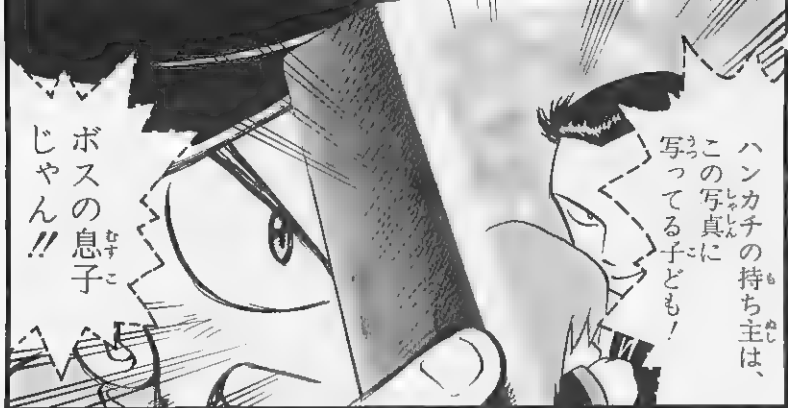
The Fifth Chapter

目標カントー地方!!

トキワシティに進路を取れ!!

ファサ。。

……。

サッ

ハンカチの持ち主は、この写真に写ってる子ども！
ボスの息子じゃん!!

…だとしたら？どうだというんだ？チャクラ。

「デオキシス捕獲の目的はボスの息子を探すためでした」
それで何か問題でもあるのか？

…大ありじゃん！ボスの息子ってことは跡取り！R団の次期首領ってことですから…。
わな
わな
わな
ボスは言ったじゃん？次期首領は、オレたち三獣士の中から選ぶ…って。
ぐゅ
だからここまでついてきたし、キケンな作戦も実行してきたじゃん。
それなのに実際は！
オレたち…、
ただの家族探しにつき合わされてただとォォ!!

そんな話にナットクできるわけねーじゃんよォォ!!!
おおお!!!

シュルシュル
ンフフフ…フ。

見事。見事な忠誠だ、デオキシス。
完全に我が手持ちとなりえたのだな。

サキ、チャクラを荷室にでも放りこんでおけ。
ハイ。

オウカ、おまえも変な気は起こさんことだ。
ゲヘッゲヘッ、オデは大丈夫なんだな。

出世なんかにキョーミないし、
…それに。

デオキシスがこの場にいるのかいないのか、わかるのか、レッド!!

ああ!!

そうだ!!

ヤツが現れるときには胸の奥から突き上げるような感覚があるが、今はそれがないと!

ならばさっき話していた作戦!

指揮はオレにとらせてくれ!!

!?

えっ?

聞いたか、ミュウツー!!

今から
この場での
リーダーは、
オレだ!!
カツラや
レッドにしか
心を許していない
らしいが!!
ここは
オレの指揮に
したがって
もらうぞ!!
………。
…いいだろう。
ミュウツーが
グリーンに
意思を伝え、
…指示を
受けている…!!
ムダムダムダ!!
ナーニヲシタッテ
ムッダダヨー!!
ミュウツー、
合図するまで
動くなよ。
それから
レッド。

おまえのフシギバナをこっちへよこせ!!
かわりにオレのリザードンをそっちへ行かせる!!
え!?
交換するんだ!! いいから言うとおりにしろ!!
わかった!!

レッド!おまえはリザードンで〝炎の究極技〟を撃て!!
オレが〝草の究極技〟を担当する!!
おまえのフッシーとな!!
フフフ……。

炎攻撃のレッド、

草攻撃のグリーン…か!!

あとはブルー!!

聞こえるか!?ブルー!!

聞こえてる!!

上のフロアへ戻ってこれるか!?

できないわ。

だったらそこから、今すぐ〝水の究極技〟を撃つんだ!!

上のフロアに向かって!! 天井をつき破るほどの威力で!!

OK(オーケー)!いくわよグリーン!!
"ハイドロカノン"!!!
ズガガン!!!
ムムム。
よし!!

〃ハード
プラント〃!!!

〃ブラストバーン〃!!!

バーカ!!
ドーコ
狙ッテンダ!!

天井ニ向カッテ
究極技ヲ撃ッタッテ、
イタクモカユクモ
ナイヨータ!!

ブルーの攻撃が
やや威力不足か!!
1フロア下から
天井を貫いている
のだから当然だが。

レッド!
威力を落とせ!!

ブルーはもっと
パワーを上げろ!!
できるか!?

ドドドドド
できるかどうかわかんないけど…、やってみる!!
カメちゃん!!
ガガガガ
カメちゃんがふんばりきれない!!みんなサポートして!!
ブルー、このメンバーではカメックスを支えきれんぞ!!
いいえ、博士!!
数日ぶりに図鑑を手にして思い出したわ。
アタシの…、図鑑所有者としての能力!

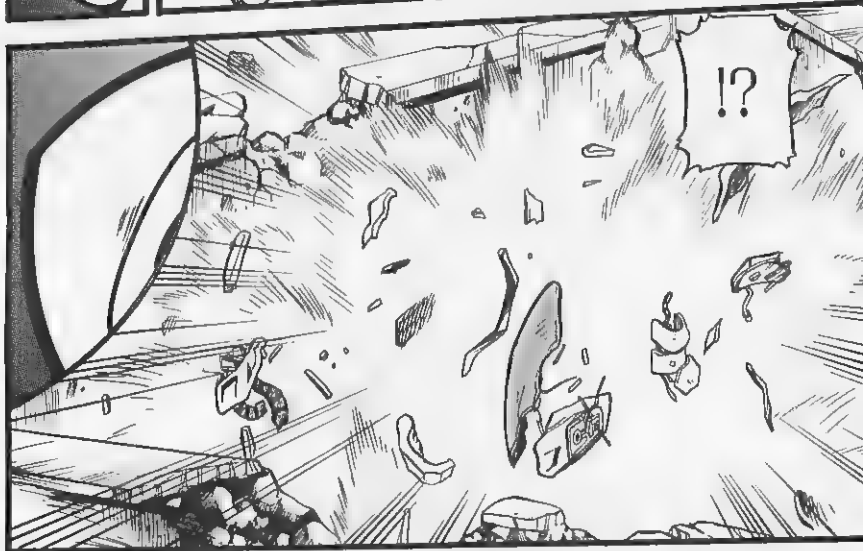
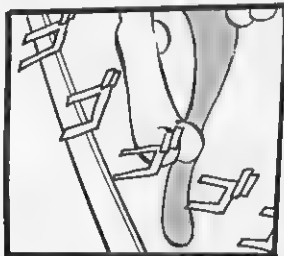
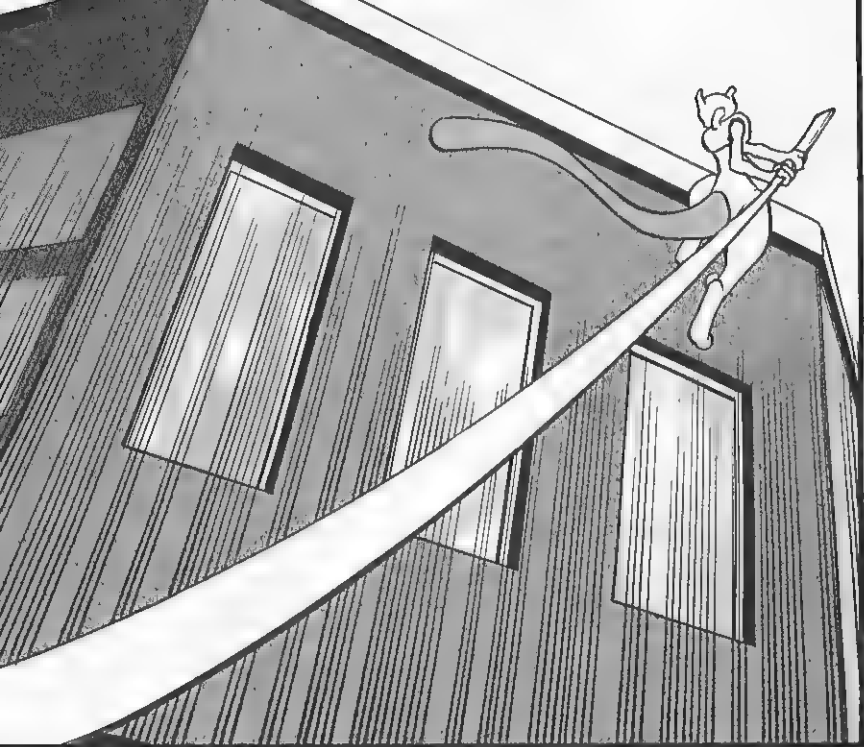
化える。
進化る。
ポケモンが進化するタイミングや、メカニズムがアタシにはわかる!!
ブル
ブル
ブル
そしてニドちゃん!!ぷりりりも!!
進化の石によってニドリーナはニドクインに!!
プリンはプクリンに!!
ブル
ブル
ブル
ブルー!!
むきっ
古い自分を脱ぎ捨てるのは、きっと今!!

新たな姿を得た仲間が、あなたを後押しするわ!!
カメちゃんがんばって!!
"ハイドロカノン"の威力が上がったぞ!!これで3つの究極技の威力がそろった!!
ブルー!そのまま砲を北方向に70度傾けろ!!
OK!
レッドもだ!!
すべての攻撃を!!
フロアの中央に集めて…!!

今だミュウツー!!

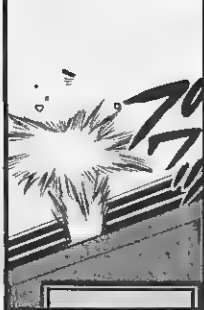
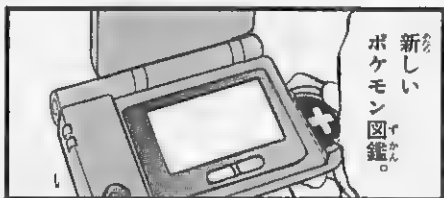
3つの技のぶつかり合うド真ん中へ、

飛びこめ!!

ゴゴゴゴゴ
ギャッハハハ！バカバーカ!!
自分デ死ヲ選ンデヤンノー!!
それはどうかな？
!?

ミュウツーガイナイ!!
ジャア、ドコカラ今ノ声ガ…!?
マサカ。
たら〜

ミュ、ミュウツー!!
M2バインフ脱ケ出シタワーノ外ニイルダト!?ドウヤッテ!!?

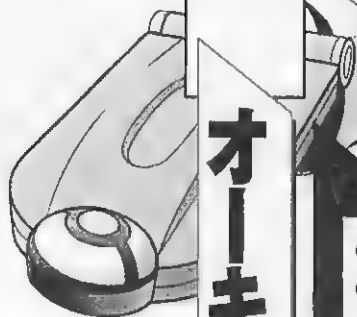
自慢の電子頭脳で、答えをはじき出してみろ!!

できるもの
ならな。

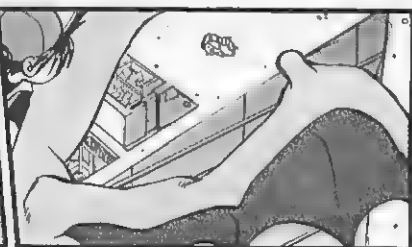
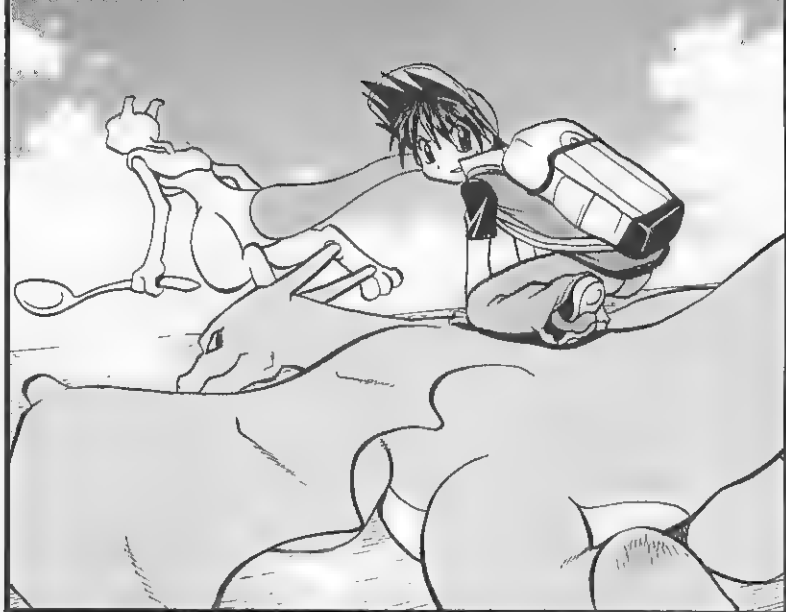
3ツノ究極技ハ、M2ハインダケヲ破壊シタアト…、オタガイノ力を打チ消シ。
消シ消シ…ブツン!
やった、成功だ!!
ディバイドたちも閉じこめてやったぞ!! グリーン! ブルー!
あれ?
オイ! ミュウツー!!
外にいるのは、オレたちだけなのか!?

サカキと
デオキシスを
追う!
追いつき
ヤツらを倒す!!

最後の戦いだ!!

オーキド博士 Dr.OKIDO

●出身地：マサラタウン
●職業　：ポケモン研究者
（その他、ポケモン協会役員、ポケモン学会名誉顧問、ジョウト・コガネラジオ「ポケモンアワー」メインMCなど多方面で活躍）
●賞歴：第1回ポケモンリーグ優勝
●手持ち：オニスズメ、ドードリオ、ガルーラ、ラッキー、オドシシ、レディバ

ポケモンの権威として全国にその名を知らぬ者はない超有名な博士。グリーン、ナナミの祖父でもある。業績は数知れないが中でも「ポケモン図鑑」開発は画期的で、オーキド博士製作の図鑑を託された少年・少女たちは、現在も各地方でさまざまなポケモンの生態情報を収集中だ。普段はマサラタウンの「オーキド研究所」やジョウトの「第2分室」で研究に没頭している。

Pocket
Monsters
SPECIAL
The Fifth Chapter

……
何をやってる!!
早く行け!!
…グリーン、おまえ…。
本当はオレを行かせるために、リザードンとフッシーを交換したんだな…。

プテの翼が
貫かれて
飛行手段を失った
オレを…。
リザードンで
行かせるために！
そのとおりだ、
レッド。
この作戦を
指揮すると言って
グリーンはオレに
こう告げた…。
作戦が成功し
拘束具が破壊できたときは
ミュウツー、
どんな手段でもいい、
ディバイドたちを
一網打尽にしてくれ！
なんならタワーごと
ぶった斬ってもかまわん！
リザードンには、
レッドを乗せて
脱出するように
指示してある!!
フシギバナも
納得している!!

グリーン。
フッシー。
……わかった。
オレは行く!!
おまえたちの後押しを…、
ムダにしてたまるか!!

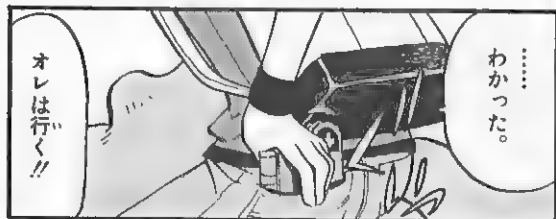
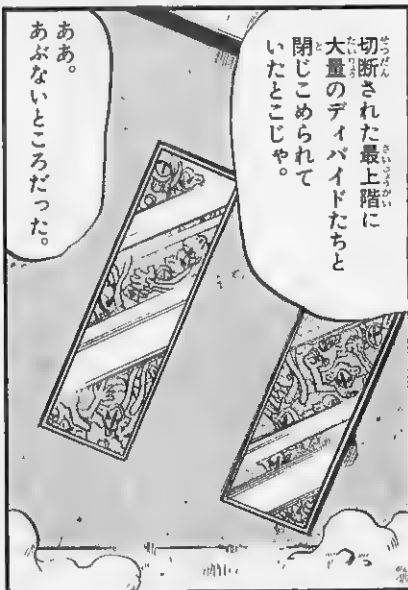
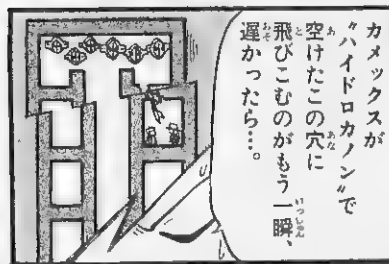
行ったか？
レッドは。
ゼェ
ゼェ
…ああ。
行ったよ、
おじいちゃん。
ハァ
ハァ

レッドの分の
新図鑑は？
カメちゃんが
水流で噴き上げたわ。
たぶん、届いたと思う。

カメックスが
〝ハイドロカノン〟で
空けたこの穴に
飛びこむのがもう一瞬、
遅かったら…。

切断された最上階に
大量のディバイドたちと
閉じこめられて
いたとこじゃ。
ああ。
あぶないところだった。

このフロアに残った
ディバイドも、
ブルーの手持ちたちが
制圧した。
ヤツらの動きは
完全に封じた！

よく…
やったぞ…、
ブルー。
ハァ
ハァ

下のフロアから撃った
アタシが一番
がんばったんだから、
ねぎらってもらって
当然よね♡

この作戦の
功労者ってとこ、
…ホホホ。
ハイ、あなたの新図鑑。

…まったく
一言多い…、

…うるさい…、
…女…だ。

あとは、レッドに賭けよう…！

うん！レッドならきっと…やってくれる!!

ど、どうして…！

どうしてニューラの思考から描きとったイメージが…、

このトキワジム先代リーダー像なんだ!?

TOKIWA CITY GYM

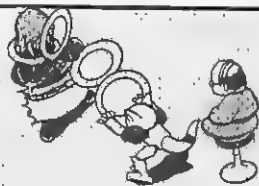
ニューラ！キミ、ここに来たことがあるのかい!?

この人に会ったことがあるのかい!?

シルバーさん！

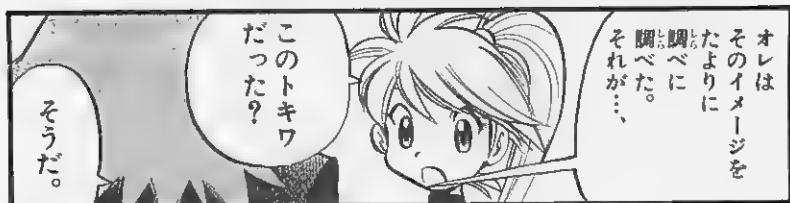
…別に驚くほどのことじゃない。
このジムや像を見たのは初めてだ。…だが、
そもそもオレの心の奥にはこの町の風景が記憶されていた。

……………え!?

最初のきっかけはあのリーグ会場での戦いだ。
戦いの場から逃がそうとブルーねえさんがオレに〝テレポート〟をかけたとき…。

オレはテレポート空間の中で、一瞬ちらりとこの町のイメージを見た気がした。
永遠とも思える緑の森を持つこの町を。

あとで知ったことだが、ねえさんはこの時、オレを生まれ故郷へ送ろうとしていたんだ。
ポケモンの技でオレの潜在意識を刺激し埋もれた記憶の中から故郷の手がかりを呼び起こす。そこが〝テレポート〟の行き先となるように。

…イエロー、…おまえ、

この男を知ってるようだな?

…サ…、
サ…サカキさん…です。
トキワジム先代ジムリーダーにして…、
ロケット団の真のボス!!
サカキさんです!!!
森が…、
トキワの森がざわめいている!
木々たちが…、これから起こる大きなできごとを感じて…、不安がっている!!

きゃ
どういうことだ!?
これから起こる
大きなできごと!
森が恐怖する
ほどのできごと
とは…!?
シルバーさん、
あなたは自分の
ルーツを求めて
このトキワまで
たどり着き、
サカキさんという
存在を知った。
この先は。
無論、
居所を探し出し
会いたい。
そして聞きたい。
オレとどんな
関わりがあるのか…!!

わかります！
でも相手は
R団の首領です!!
…何が起こるか
わからないとでも
言いたいんだろう。
仮に戦いになった
としてかまわない。
フフ…、
これまでだって
オレは……、

ゴォン
ゴォン

この音は！

ぐいっ！

真のボスが率いる、

正真正銘のロケット団の精鋭たち!!

トキワシティのどこにいるかしぼりこんでみれば…。
市街でもトキワの森でもなく…、ジムの近辺にいるというのか？デオキシス。

……。

よかろう。おまえの念視能力、信頼に足るものだ。
信じて…このサカキ、自ら赴こうではないか。

ぐ！

ボス？

……サキ、…オウカ…。
ハイ。

こっちに来ます!
おまえの心配どおりどうやら、平和的な展開は望めなそうだな。
おもしろい!!
ギャラドス!!

"だいもんじ"!!
わ、わ、何をするんですかシルバーさん!!

〝シャドーボール〟をあびた!!
一度眠って回復だ!!
ZZZZ
ポワァ…
シュルルル

幼少時のデータとの
共通点、
成長シミュレーションの
結果との相似値、
共に99%以上。
やはり、なんと
すばらしい、
デオキシスの力。

さっそく上へ
お連れして、
サカキさまに
喜びのご報告を。

!!

お迎えに
あがりました。

オレが用があるのはサカキだけだ!!
サカキを連れてこい!!

フフ、あの方に似て鼻っ柱のお強いこと。

しかしいけませんよ。
これから人の上に立つお方が、やみくもに熱くなるようでは。

意味のわからないことを……。
いいからサカキを、
出せえ!!!
ふう。
おいたがすぎるといけませんよ。
力ずくで連れていってもいいんですから。
ゲヘゲヘいいのかなぁサキ、ボスの大事な人なのに。
いいのよ、傷つけるわけじゃなし。

やってみます？タッグバトル。

望むところだ！

え？ボクも戦うんですか!?

●勤務地：ホウエン地方
114番道路
●職業　：ポケモン転送
システム開発担当（マユミ）
：ポケモンボックス管理
担当（アズサ）
●趣味：ミナモデパートで
バーゲンに参加（マユミ）、
キンセツでルーレット
（アズサ）

マユミ&アズサ
MAYUMI&
AZUSA

ホウエン地方でポケモン転送システムを取り仕切る天才姉妹。マサキ・ニシキとは研究仲間で、困った時は頼りあう仲だ。
姉・アズサはクールで理論派、妹・マユミは落ち着きはないがヒラメキ派で、正反対ながらうまく補いあっている。ナナシマ事件ではマサキからの連絡をうけ、ポケモンに「土地・風土がおよぼす影響」について言及・助言をするが…。

●第290話●

Pocket
Monsters
SPECIAL

"すてみタックル"!!

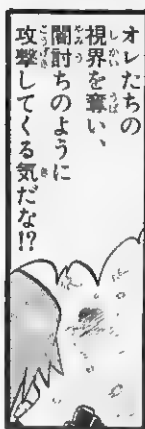
くっ!!
もう一度炎をあびせろ
ギャラドス!!

"だいもんじ"!!

フッ…、
かなりの
強力なパワー。

それも色違いの
美しい真っ赤な
ギャラドスを
お持ちとは、

サカキ様に似て
趣味のいいこと。

シルバーさんが苦戦している!
それほどの相手……!!
すぐに敗北するんだな!!
おい!よそ見はよくないんだなぁ、ゲヘッゲヘへ。
これはタッグバトルなんだな。コンビで助け合いながら戦わないと…、
これは…大量のワタ毛!前が見えない!!
モワ
モワ
シルバーさん?
モワ
ここにいる。はなれるな。
オレたちの視界を奪い、闇討ちのように攻撃してくる気だな!?

!!!…

ご名答なんだな。
でもそれだけじゃあないんだなァ。

このワタッコっていうのはね、風に乗って世界一周だってしてしまうポケモンなんだなー。オデのワタッコも世界一周してきてねー…。

その結果、あらゆるほうしをその身に宿してきたよ、
どく、しびれ、ねむり…。
ワタ毛に触れただけでなってしまう、状態異常の宝くじなんだな。

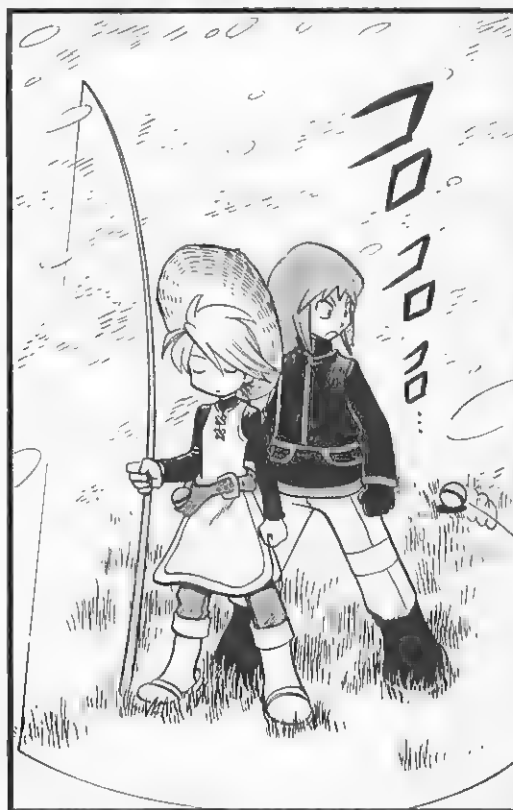
なく〜にが当たるかお楽しみ！
なんだなく〜。
ぴと
チュチュ!!
ぴくぴく
ギャラドスは……!?
まずい！たかがワタ毛とあなどっていたが…！ポケモンを変えたとしてもこの中にいる限りすぐに同じことになってしまう！どうすれば……!!
!!
とってもいいわ、オウカ。
ゲヘッゲヘヘヘ。

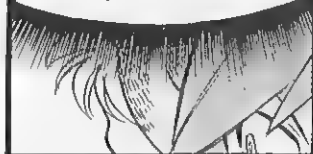
傷つけるわけじゃないっていうさっきの話、きちんと理解してくれていたのですね。
この調子でポケモンだけを戦闘不能にしていけばいずれ、降伏してくださるでしょう。

ねぇ?ご子息。

シルバーさん、ボクに考えが!!
釣りざお?

コロコロコロ…

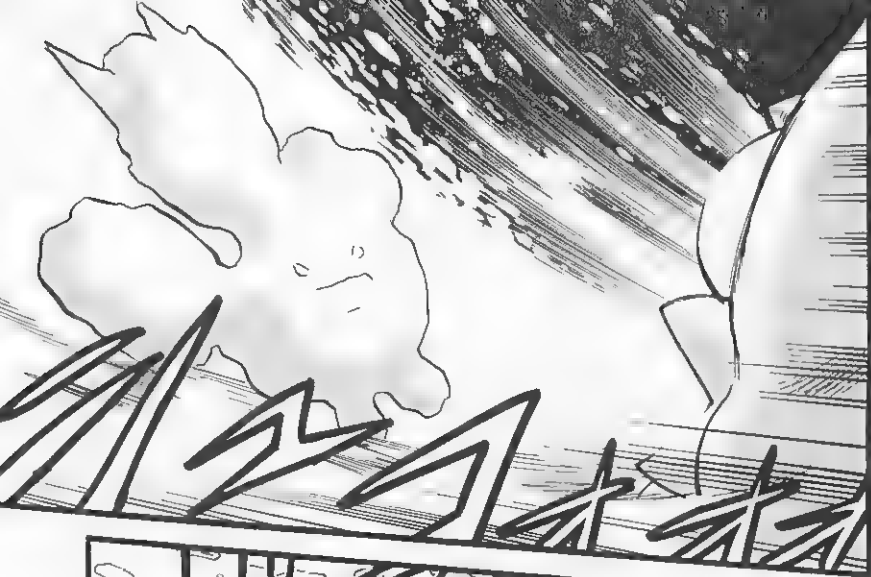
コォォン

まるで、意志を持っている
かのような糸と
ボールの動き。

このイエロー自身
不思議な気の
使い手で、ボール
程度のものなら
動かせると
ブルーねえさんから
聞いてはいたが……!!

このまま
糸の先についた
モンスター
ボールを
敵に
気づかれない
ように、
ワタ毛の外へ
送り出し。

そして。

オムすけ、

"ふぶき"!!!

パラパラパラ
あれだけの物量のワタ毛を、コントロールしていたワタッコもろとも一瞬で凍りつかせるとは!!
強く鍛えあげられたポケモンなのか!?
い、今、調べてみるんだな!!
チャクラがポケモン図鑑をもとに作った、このブラックポケデックス。
本物の図鑑にはない機能が付加されているんだな。

ポケモンの能力を
数値化して
表示する機能が…!!
42

ゲヘヘ、
ほら見るんだな
たいしたことない。

ほかの手持ちは…と。

ピ
20

ピ
39

ピ
33

ピ
25

ゲヘッゲヘヘッ、
笑ってしまうほどの力!
さっきのは偶然、
弱点をつかれただけで
この場の攻防には
まったく影響なし。

今まで、

今まで、この森は
何度もつらい
戦いの舞台に
なってきました。

ボクは同じことをくり返したくない！

戦いをやめて、出ていってくれませんか。

……この森から……!!

む!!

あれは。

レッドとミュウツーか!!
……なんと!

脱出できた、
……というとだな。

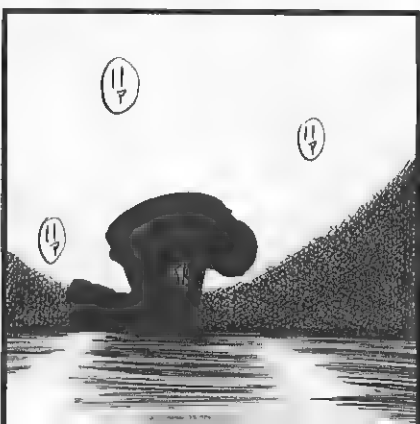
やはり、小手先でどうこうできる相手ではなかったな……！

それはこの私が、一番わかっていたはずだというのに。

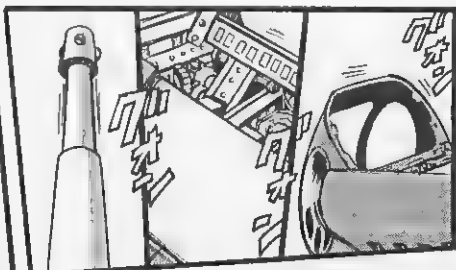
いいだろう。

完全なる勝利を目ざすのなら、「闘い」によってそれをもぎとる以外はありえないのだ。

ゴゴ

つき合ってくれるな？

デオキシス。

見ろ！
ミュウツー!!
ロケット団の
戦闘艇だ!!
ここは…、
トキワの森か!!
!!

グォン
グォン
グォン
ロケット団の戦闘飛空艇が…、
空中闘技場に!!

●第291話●

Pocket Monsters SPECIAL

ロケット団の戦闘飛空艇が空中闘技場に……!!
ちーっ
この…感覚。
ちーっ
どうした? レッド。
ミュウツー…、あの時と同じだ。デオキシスと初めて戦ったあの時。
体の奥がドクン!となって全身の血が逆流する感じ。
間違いなくあそこにいる!!

デオキシスは
あの中でオレたちと
戦う時を待っている!!
カシャ
!!

ギウウウウン
ガー
ズカン!!

サカキ……、デオキシス!!

ここにいるのは、元トキワジムリーダーでもR団首領でもない!!

肩書きなぞ捨てた1人の男だ!!

さあ!

おりてこい、チャンピオン!!

ザッ

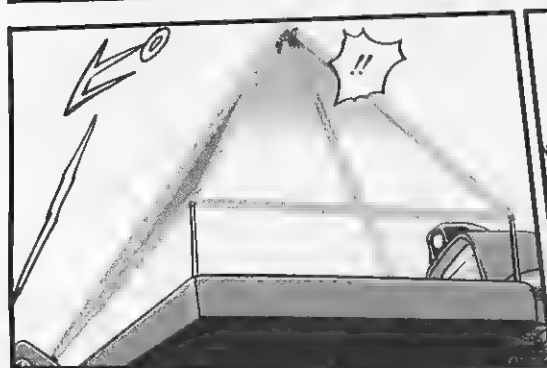
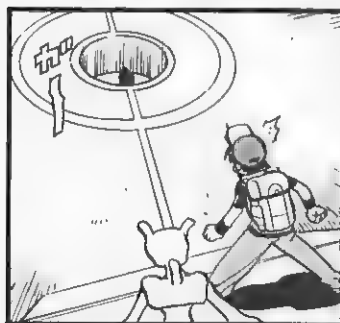
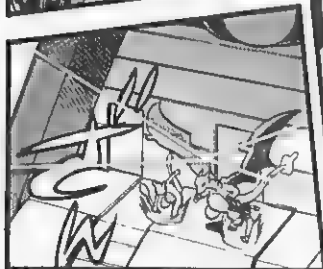
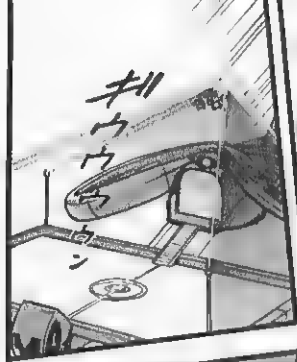
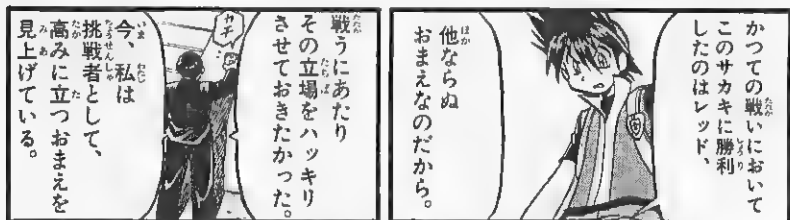
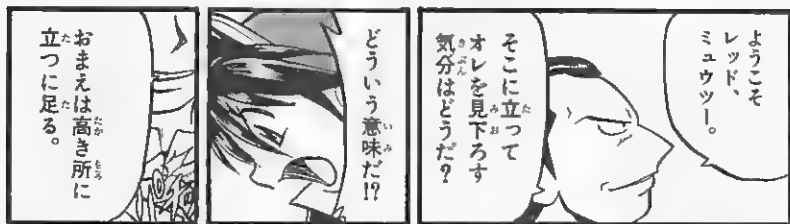
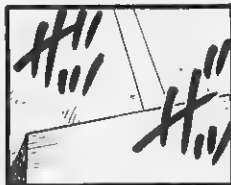
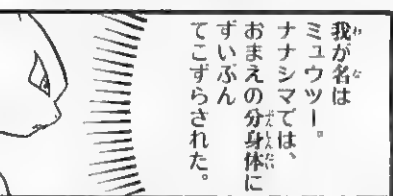
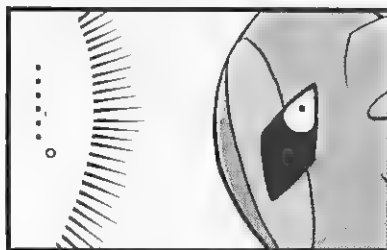
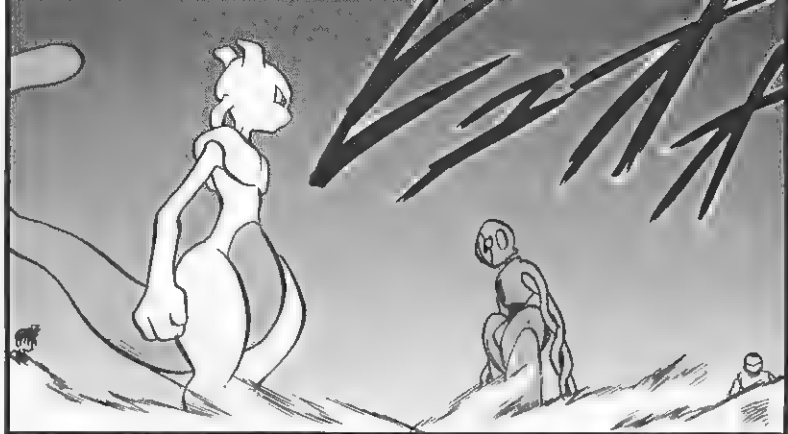
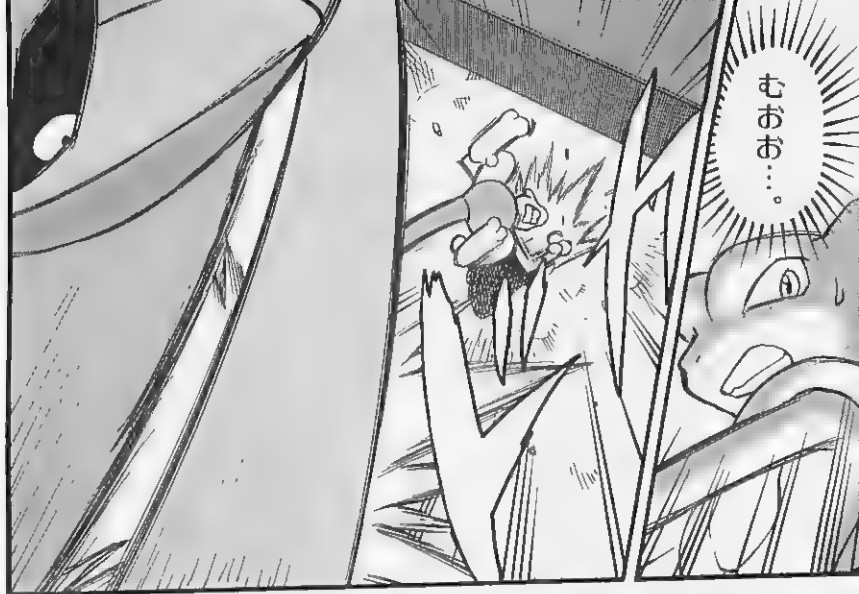
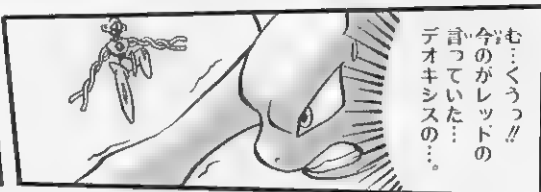
ザッ
ザッ

ザッ

手持ち数はシンプルに一対一。ミュウツーとデオキシスの勝負、それのみで決する。
どうだ?
……ああ。かまわない!

おまえが
デオキシス本体か…、
やっと出会えたな。
……。

我が名は
ミュウツー。
ナナシマでは、
おまえの分身体に
ずいぶん
てこずらされた。
……。

しかし、今
うれしく思う。
「宇宙の未知なる力」で
あるおまえと…、
ぶつかり
合えることに…。
……。

ミュウツ――!!
頼むぞ、レッド。
この戦い…、オレはすべておまえの指示に従う！
おまえにすべてをあずける!!
コク

むおお…。
む…くうっ!!今のがレッドの言っていたデオキシスの…。
そうとも、
"フォルムチェンジ"だ。
ナナシマでエネルギー生成した2つの石の影響は今、ここトキワまで及んでいる。
だからデオキシスは自由に形態変化ができる。
4つの形態に、しかも超高速でな。瞬時の戦況変化に…フフフ、出方も定められまい!!

駆け引きなんてしてもムダなんだ！策を講じても、相手はそれに合わせて変化してしまうんだ!!

今撃てる限り最大の威力を持つ技を、ただ叩きこんでくれるだけでいい!!

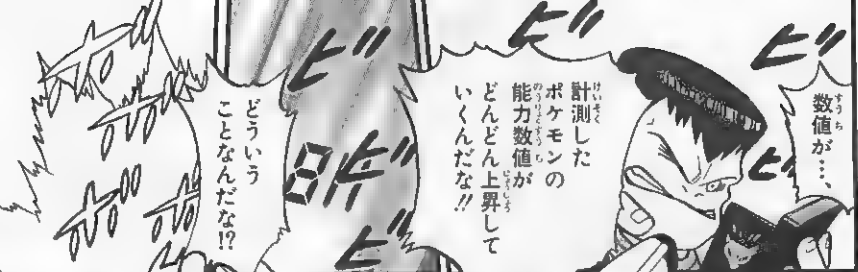
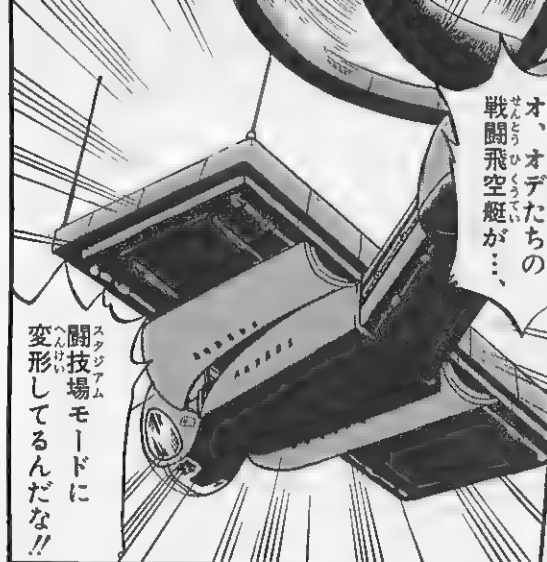
よし！

狙うは…、

あの胸の水晶体!!!

●第292話●

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

数値が…、
計測したポケモンの能力数値がどんどん上昇していくんだな!!
どういうことなんだな!?
まさかトレーナーの「気」の上昇に同調して、ポケモンたちもふだんは表に出さない力を解放したってこと!?
……!!
フフフフ…。それが事実ならたしかに興味深いが…。
今はもっと重要なことがある。
オウカ、上を見ろ。

!!

オ、オデたちの戦闘飛空艇が…、

闘技場モードに変形してるんだな!!

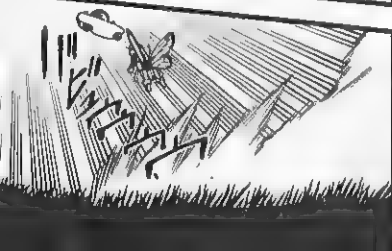
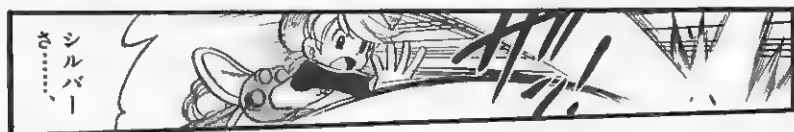
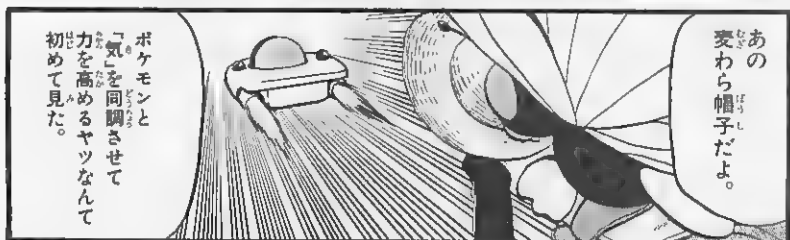
貴方の父君ですよ。
シルバー様。

ダメだ!! あの目を見ちゃいけない!!

…う…あ。
シルバーさ……、
ンフフフ。では、まいりましょう。
OKなんだな。
待てェ!!

どうして急に
方針を変更
したんだな?
……。
危いと
思ったからさ。
え!?
あの
麦わら帽子だよ。
ポケモンと
「気」を同調させて
力を高めるヤツなんて
初めて見た。
ああやって
追ってくるからには、
必ずもう一度
対面することになる。
その前に…、
確実にご子息を
ボスのもとへ
お連れしたかった
のだ。
オウカが挑むにせよ、
私が挑むにせよ、
ただ、まともに
ぶつかり合ったなら…、
きっと
負ける!

狙うは…、
あの胸の水晶体だ!!

シュルルル
くっ!

なんだ、レッド。今の攻撃は?

おまえほどの男が無策とは…。正直、失望したぞ。

デオキシスをただやみくもに打ちこんで倒せる相手と思ったか?

こっちは、おまえのトレーナーとしての引き出しに期待してあらゆる対応を用意していたというのに。

はっ!!
ドガガ

胸の水晶体を狙っているのか。狙いどころは悪くないな。

なぜそこが狙い目だと判断した?

前にピカが胸の水晶体に〝かみなり〟を当てた時だ。
あの時、デオキシスの動きが止まった。

なるほど。

いかにも…、
あの水晶体は…、

デオキシスの…、
炉だ!!
シュルルルル
シュシュシュ

7の島
ズズズーー
こりゃ───!!
みんな、わしのことを忘れとるんじゃないか？わしもたわーの中で戦っとったというのに。
まあ、この様子じゃと脱出作戦はうまくいったみたいじゃが…。
ぬな。
ズズズ
どひゃー!!
あれは!!
キワメさん!!

シェルダー、
〝つららばり〟!!

ズドドッ
ぬはっ!!

ふ〜〜〜、助かったわい。おまえらも無事か?
ええ!

・・・たわーで戦っとった連中はどうした?
レッドとミュウツーが飛び立ちました。
グリーンとブルーはまだタワーの中にいると思います。

みな無事なら、なによりだ。では、スラッと合流するかの!

実はあれこれ探していたのよ。

な、なんですか？これ!?

「ふるびたかいず」じゃよ！

「さいはてのことう」という島の場所が描かれとるんじゃ!!

●第293話●

Pocket Monsters
SPECIAL
The Fifth Chapter

ギギ
ギギ
ギギ

……さっきデオキシスがはじいた念のエネルギーを宙空に止めておき、
それをスプーン型に収束させ、デオキシスの炉を貫いたのか……!!

無策と言ったのは、こちらをだますためのフェイクだったのか?

違う。
レッドが作戦なし、と言ったのは本当だ。

レッドの指示は
ただ、「胸の
水晶体を撃て」。
オレはその指示を
実行したのみ。

策があろうと
なかろうと、
どんな手段を
使ってでも
実行するのみ!!

それがオレの
戦い方!!

戦いの場における
主人への信頼だ!!

……。

このピカの様子…!!

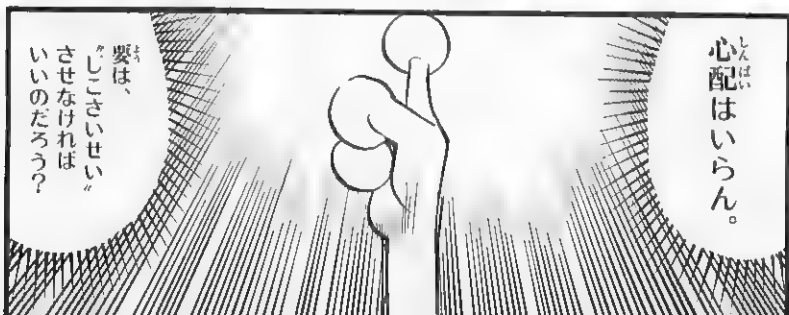
きっと5の島で戦ったときのことを思い出しているんだ!
あの時も胸の水晶体を撃ち抜き、一度は動きを止めたけど…、

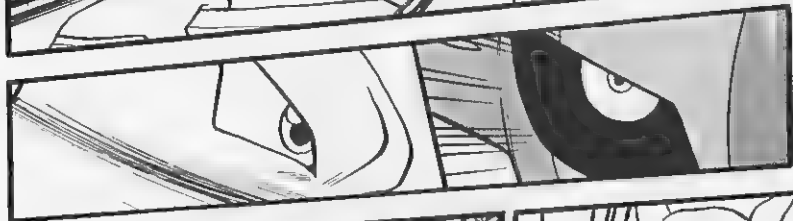
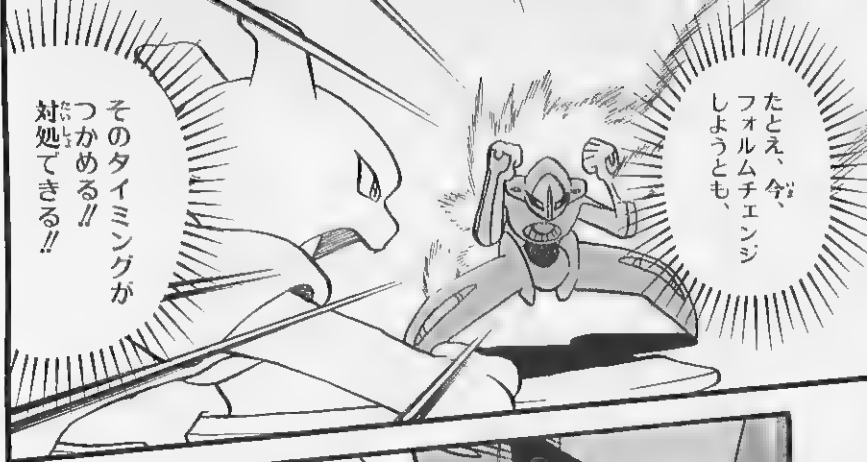
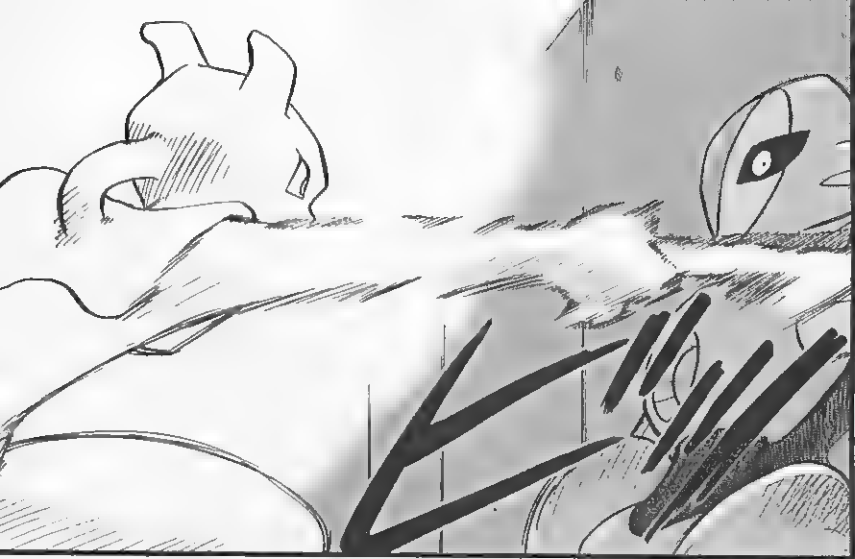
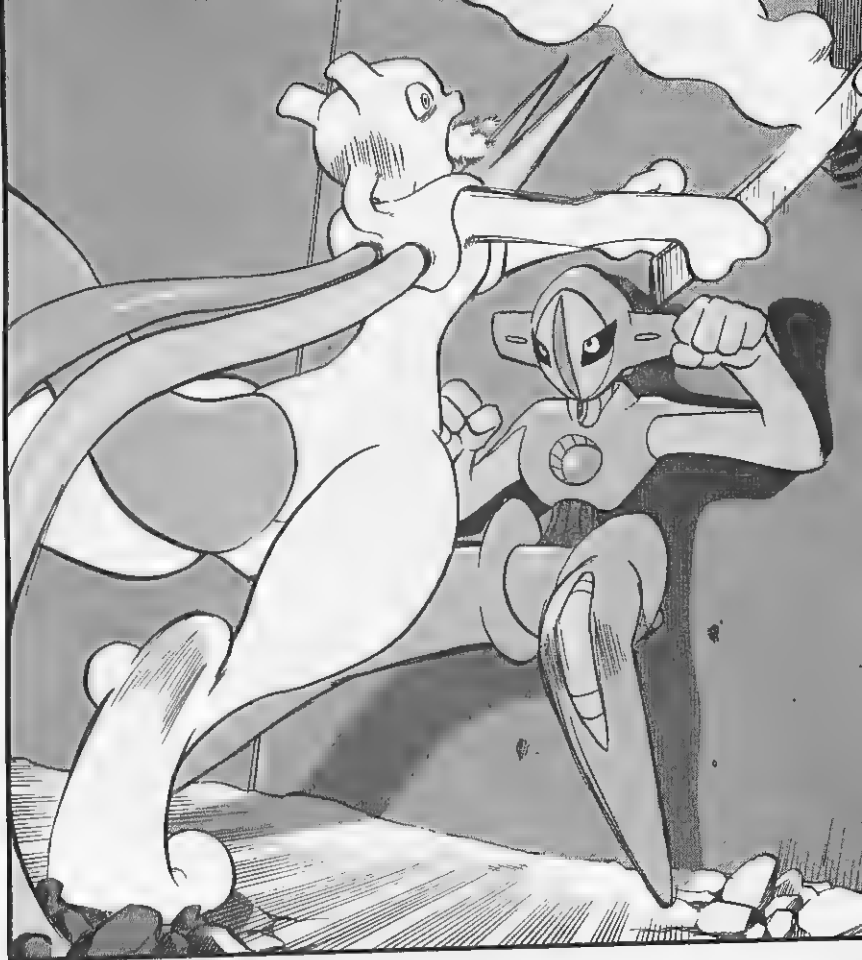
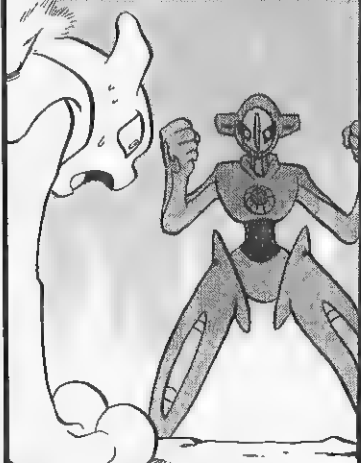
最大級の技!?
ロケット団幹部は〝サイコブースト〟と、呼んでいた。

すぐ自身に〝じこさいせい〟をかけて復活し、
最大級の攻撃技を返してきた!!

心配はいらん。
要は、〝じこさいせい〟させなければいいのだろう?

宙空にキープしておいたのは、一発だけてはない！無数に分裂させていたのだ!!
!!!
デオキシス!!ディフェンスフォルム!!!
ドドドド
ドドド

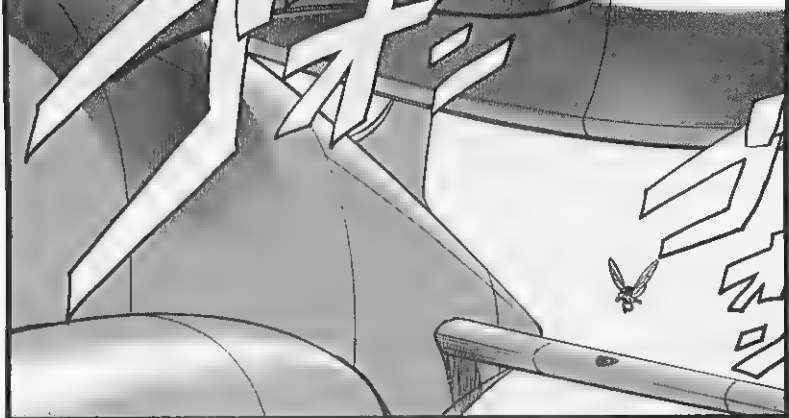
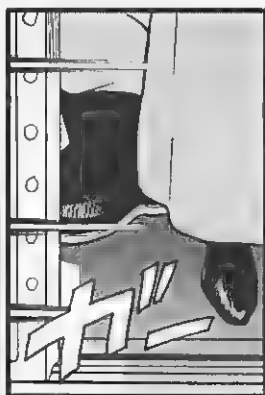
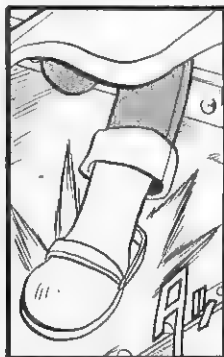
ゴオオオオオオ
防御したくとも
ディフェンスフォルムに、
フォルムチェンジできまい。
今こそ勝負を決する好機!!
ミュウツー、慎重に…!!
まかせておけ、レッド!!
ヤツのフォルムチェンジの徴候はおおよそわかった!

たとえ、今、フォルムチェンジしようとも、
そのタイミングがつかめる!!
対処できる!!
シュドドドド

覚悟…！

この鋭利な触手は…アタックフォルムの…。
しかし…ここにいるのは……、ノーマル!!

オーロラだ!!
デオキシスはオーロラをまとうことで、自分がまだノーマルでいるかのように見せかけていたんだ!!
こんな能力も持っていたのか!!
〝じこさいせい〟も完了した。
危ないところだった。まさか、ここまで追いつめられようとはな。
しかし…、フフフフ。
おもしろい。楽しい戦いだ。
レッド、ミュウツー、やはりおまえたちはすばらしい相手だ!
だからこちらも敬意を払い、最大級の攻撃で応えよう。
アタックフォルムで放つ〝サイコブースト〟だ!!!

ラッちゃん!!

びたっ

シルバーさん、

どこに…。

サキの言ったとおりなんだな。
あの麦わら帽子、艇内に侵入したんだな。

ひとまずほうっておけ。…それよりも…。

サカキ様の前にお連れする恰好としては、貧相だな。
ジュペッタ、下ろして。

やはり、それなりにふさわしい外見というものが必要だろう。

これかな…いや、これがいい。

ち～

よくできた、ンフフ…お似合いですよ、シルバー様。

目覚めたときには、
ロケット団、新生・悪の王子!!

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

「ふるびたかいず」…。
「さいはてのことう」という島の場所を示すマップ…。
そうじゃ。

古い知り合いがずっと探しておってな、うまくたわーの中で見つけられてよかったわい！
おーい、グリーン!!ブルー!!無事か〜!?
さっそく知らせてやろう、電話、電話…と。

いかんいかん！
何をこんなにたくさん持ち出してきたんだろ？
あたふた

あーもしもし、わしじゃ、キワメじゃ！
見ーつけちゃった、見ーつけちゃったよー。

あんたがずっと探していた「ふるびたかいず」をさ!!
……。

「さいはてのことう」のど真ン前におる。

ザザァ…

なんじゃと〜〜〜!!!

…おったのか？幻のポケモン…。

ミュウは？

あ、あの、キワメさん、
よく状況がのみこめないんだけどこういうこと？
ハギさんて人がキワメさんの古い友人で、
そのハギさんは、「さいはてのことう」で野生のミュウを探している。

ああ、そうとも！
ハギちゃんはホウエン出身でな、すご腕の船乗りなんじゃ！

もう隠居同然の年寄りなのに、何をまちがったか高速艇の船長に任命されたそうじゃ。
年寄りはお互いさまじゃろーが！同い年のくせに!!

て、どーすんじゃ？ミュウにりとらい・・・するのか？
ううむどうするかのう。

一度、出会ったことでこの船のレーダーは、ミュウが出す特殊なエナジーの波長を記録した。追跡することは可能じゃが…。

なんと！て、今、ミュウはどこに!?
それじゃよ、わしが追跡をためらう理由。ミュウの現在地は…、

キワメちゃんのいるナナシマ付近を現在、通過中!!

なに!?

このまま行くと、…まもなくカントー本土じゃ!!

ミュウがカントー本土に向かっている…。

お〜〜〜い!

グリーンやブルーたちと会えました!! 合流完了!!

ミュウツー!!

しっかりしろミュウツー!!

ゴオオオ

攻撃能力に特化したアタックフォルムで放つ〝サイコブースト〟!!

それをこの至近距離で受けたら…。

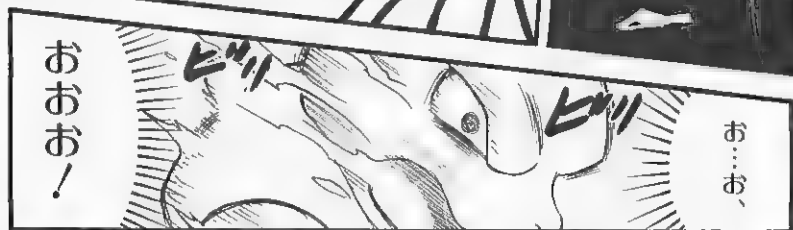
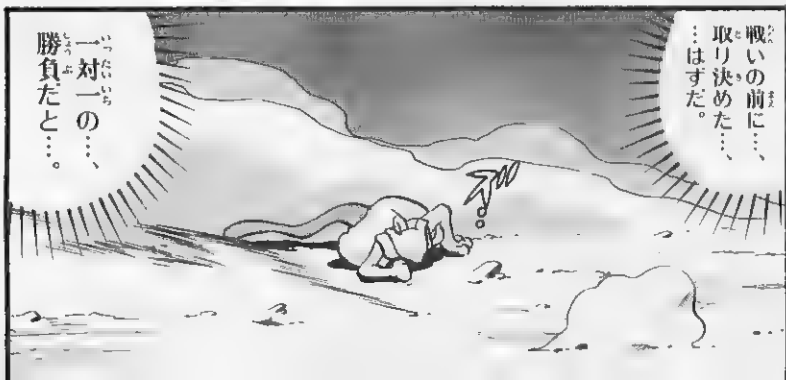
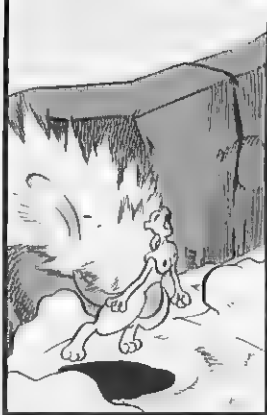
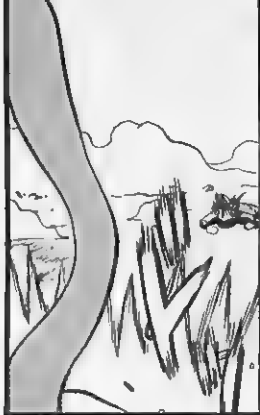
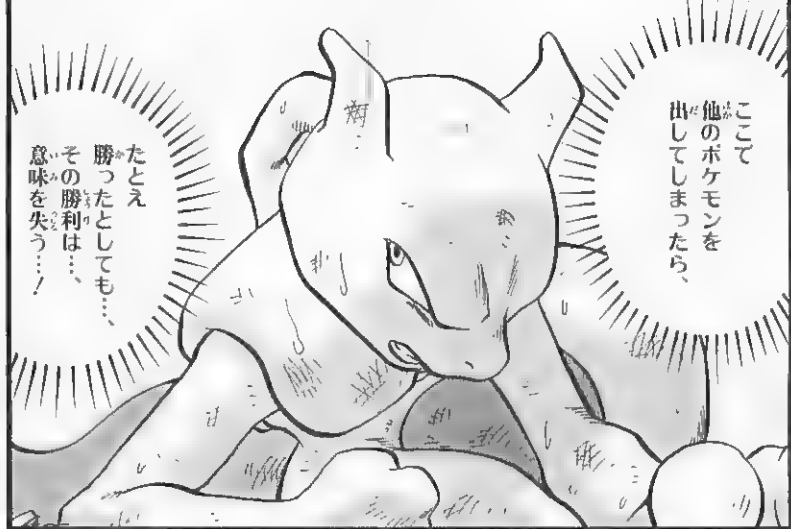
ミュウツー! 動け!!

たのむ! 動いてくれ!!

ミュウツー!!

おおお!

お…お、

…ミュ、
ミュウツー…。
くっそう!!
ピカ! ゴン! ニョロ! ギャラ! プテ! リザードン!!
やめろ…、レッド!!
戦いの前に…、取り決めた…、…はずだ。
一対一の…、勝負だと…。

ここで
他のポケモンを
出してしまったら、
たとえ
勝ったとしても…、
その勝利は…、
意味を失う…！
だい…じょうぶ
…だ…。
オレ…は、
まだ…、
戦える…。
いくぞ、
デオキシス。
ど。

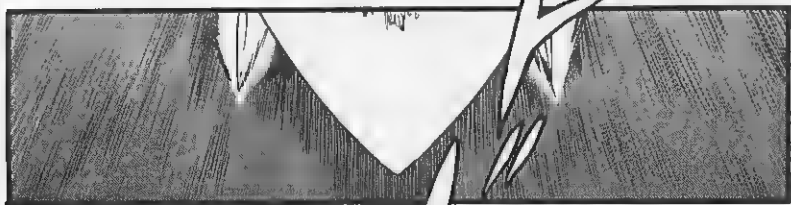
…が!
ぐ…、

…だから！

それを成しとげるまでは…!!絶対に引かない!!

降伏なんて…!!

絶対するもんか!!

イエロー YELLOW

●出身地：トキワシティ
●誕生日：3月3日
●血液型：A型
●年齢　：14歳
（第5章現在）
●好きなこと：絵を描く、釣り
●家族　：叔父
（釣り人ヒデノリ）

十年に一度生まれるといわれる、トキワの森の能力を受け継いだ少女。ポケモンの気持ちを読みとり、ポケモンの傷を癒す特殊能力を持つ。フルネームはイエロー・デ・トキワグローブ。もともとはトキワシティでごく普通に暮らしていたが、レッドと出会ったことで運命が大きく変化。カントー四天王への挑戦で行方不明になったレッドを探すためピカ（ピカチュウ）を連れ旅立ち、女の子ということを隠して苦手な戦いに挑んだ。

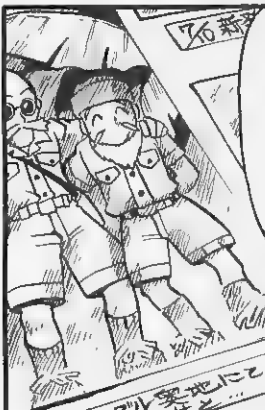
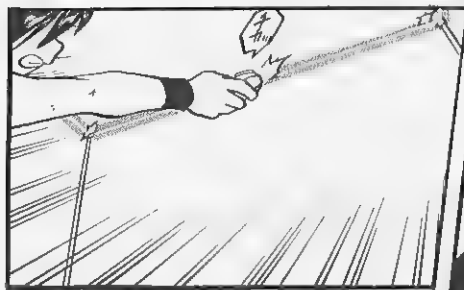
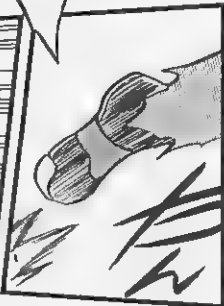
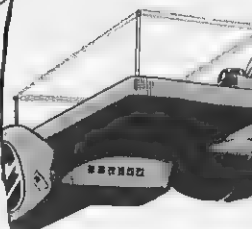
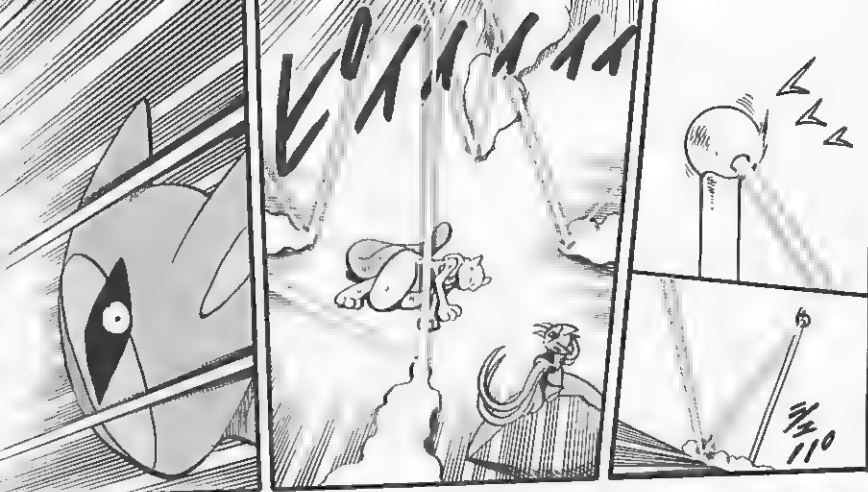
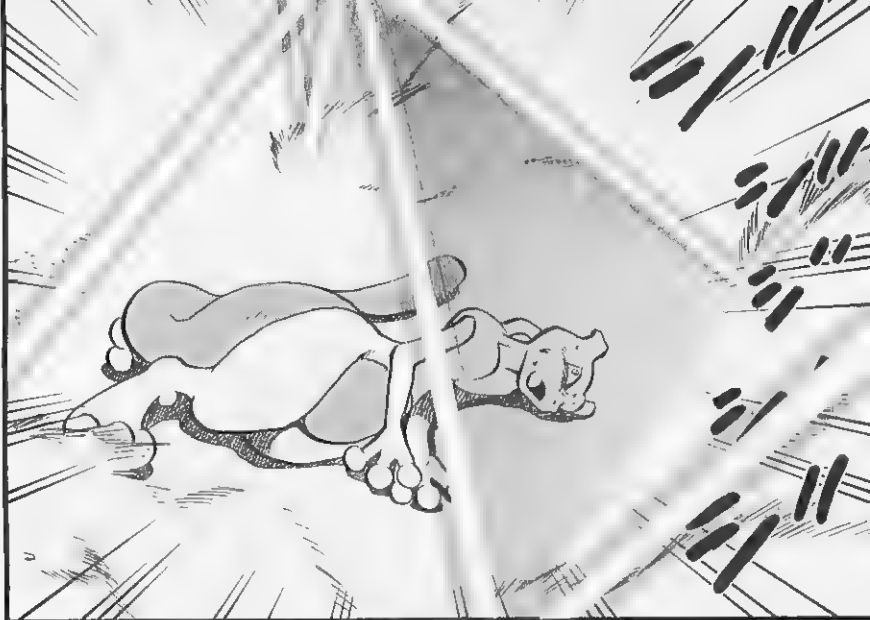
現在は、R団三獣士に連れ去られたシルバーを追って、戦闘飛空艇に侵入中。その特別な能力が事件にはどうかかわるのか……!?

Pocket Monsters SPECIAL

グレン島
変わんないな〜、
ガコ
ここも。
お久しぶりです！
カツラさん!!
おお、早かったね。着く時間がわかっていたら、迎えに行ったのに…。
とんでもない！そんなに気をつかわせちゃあ…、
あれ？ 何を見てたんです？
はっはっは、古い写真だ。
キミたちが来ると思ったら、急にあれこれなつかしくなってな…。
7/6 新
7/6
7/5 ジャングル実地にて フジはかせと…

それに……、
…む…。
どうしたんですか?
……いや、かつて私とミュウツーをつないでいたきずなの跡…、
腕の傷が昨日あたりからうずきはじめておるのだよ。
ミュウツーの心の奥がざわめいているのがわかる。
ミュウツーにここまでの影響を及ぼす存在といえば、そういくつもない。
……もしかすると、ミュウが…、
また来ようとしているのかもな、この地方に…!!

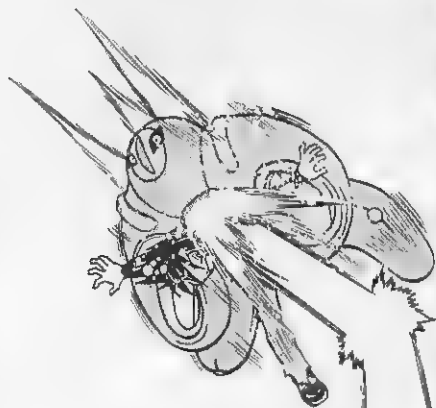
うおおおお!!!
戦闘艇のリモコン!?

ピィィ…ィィィ
ジュパ
バシッ

ミュウツー!!
それはオレたちをここへ取りこむときに使った、エネルギーシールドだ!!
!!

その中で〝じこさいせい〟を…回復をするんだ!!
デオキシスがオレを押さえているうちに!!

突っこんできたと思えば狙いは…！
リモコンだったのか!!
「戦いの場にあるものすべてを使いバトルを組み立てろ」
…そう教えてくれたのは…、
サカキ!!たしかおまえだったよな!!!
そうだ!!
今はこの飛空艇全体が戦いのフィールド!!
ミュウツー、急いでくれ!!リモコンを取り戻されないうちに…!!
今がチャンスなんだ!!
デオキシスがオレを捕えている今が…!!
レッド…！わかった!!
……一発…！
ただ一発…
攻撃を放てるだけでいい!!
動いてくれ！オレの体よ…!!
〝じこさいせい〟…!!

ズズッ
今だ!!
カチッ

この位置ならオーロラにまどわされない!!
ミュウツー、撃て!!デオキシスは今アタックフォルムだ!!
そうはさせん!!デオキシス飛べ!!
ス、スピードフォルムに…!!
くうう!
この超高速では的を絞れまい!!むやみに撃てばレッドを貫くかもな!!
かまわない!!ミュウツー!!撃て!!
もう一度「炉」を撃て!!

オレごと撃てえ!!!

ま…
負けた!!
ディフェンスフォルムにチェンジした…。
なぜ…、オレの指示なく…?
防御力を高めずともあのスピードならかわせたはず…。
どうしたんだデオキシス!!
む!!違う!

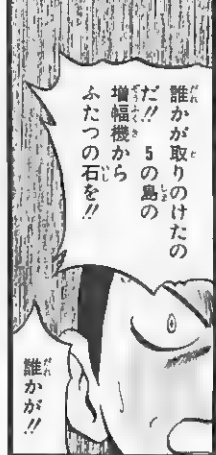
アタックとディフェンスだけをくり返している！
ガク
苦しみ悶えているのは炉を貫かれたからだけではない!!
自由にフォルムチェンジできなくなったからか!?
ガク

ノーマルとスピードへのフォルムチェンジを可能にするホウエンの風土!!

5の島にセットした赤い石と青い石の放つエネルギーがこのカントーにホウエンの風土を現出させていた!

誰かが取りのけたのだ!! 5の島の増幅機からふたつの石を!!
誰かが!!

5の島
…やった…。

ついに見つけたで、
ルビーとサファイア。

マサキさん!! 2つの石から出ていたエネルギー波が消えましたよ!!
これでカントーに再現されたホウエンの風土は、なくなりました!!

マユミはんとアズサはんの言うてたとおりやったら、これで…、
デオキシスのフォルムチェンジは制限されたはずです!!

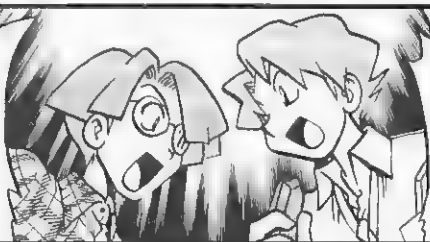
ハァ…ハァ…、広いなっ…!

すっかり迷っちゃった。
シルバーさんどこだろう?

あ!!

い、今、ボクに話しかけたの…、

…キミ？

イエローチームのポケモン 1

チュチュ／ピカチュウ♀ でんき

- LV.??（第295話現在）
- 特性：せいでんき
- おっとりな性格

トキワの森でケガを負っていた時にイエローに救われた。風船を身にまとい、空を飛んだこともある！

ラッちゃん／ラッタ♂ ノーマル

- LV.??（第295話現在）
- 特性：こんじょう
- がんばりやな性格

レッド指導のもとイエローが初めて捕獲し、手持ちにした1匹。鋭い前歯が鋼鉄をも噛み砕く…！

ドドすけ／ドードリオ♂ ノーマル ひこう

- LV.??（第295話現在）
- 特性：はやおき
- せっかちな性格

イエローが叔父から授かったポケモン。強靭な脚力を持ち、陸の移動ではイエローを乗せ長距離を疾走！

Pocket Monsters SPECIAL

今、ボクに話しかけたの…、

…キミ？

伝えようとしているのは
自分の正体について、
のようです。

…「レッドよ、
オレは…、」

デオキシスの心を
読みとったまま…
そのままを
伝えます!!

「オレは
レッド」だ!!

私が話しましょう。

オウカ、サカキ様を艇内にお連れして。

了解なんだな。

おまえは…。

おっと、ヘタな動きはするなよ。

勝った気でいるかも知れないが、

おまえたちはまだ敵陣のただ中にいることを忘れるな！

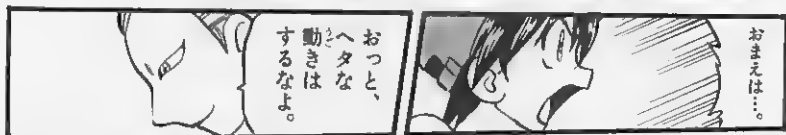
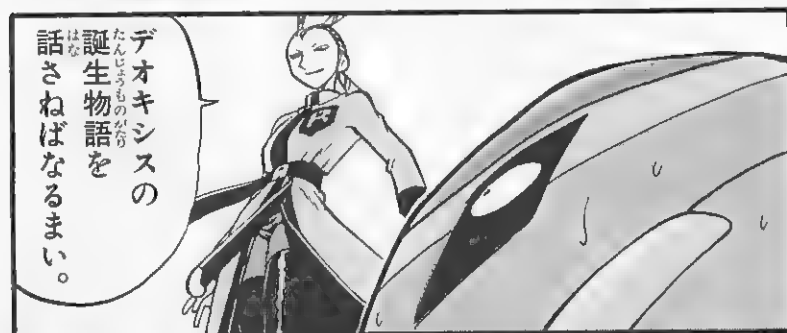
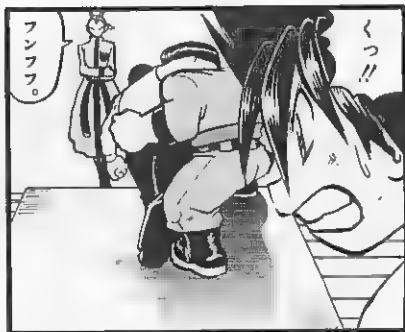
くっ!!
フンフフ。

…さて。なぜデオキシスが「オレはレッドだ」と言ったのか…、
カッ
それに答えるにはまず…、

デオキシスの誕生物語を話さねばなるまい。

そんなことはとっくにわかってる!!
デオキシスが宇宙から来たポケモンだということも!!

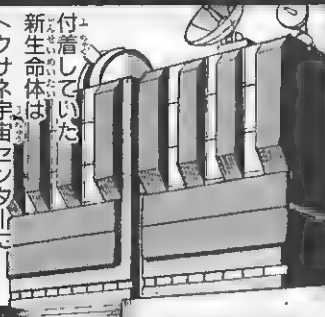
「宇宙ウイルス」がレーザー光線を浴び、
突然変異を起こしたウイルスは見たこともないポケモンになった!!

そうか、
だったらその先を理解することもたやすいだろう。

すべてはまったくの偶然だった。
トクサネ宇宙センターから発射されたロケットが宇宙空間で発見した宇宙ウイルスを調査中に起こったことだ。

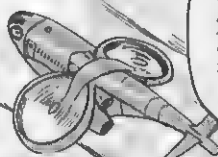
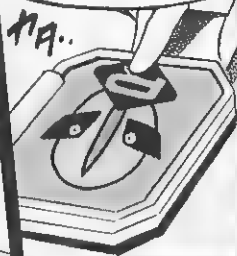
突然変異を起こした宇宙ウイルスは、
新しい2つの生命体へと変化した。

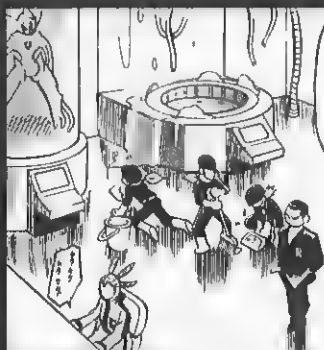
それらは隕石に付着し、地球へとやって来た。

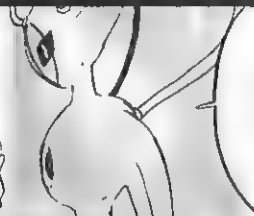
隕石の名は…、
グラン・メテオ。

ホウエン地方に落下した隕石は、ソライシという学者の手にわたり、
付着していた新生命体はトクサネ宇宙センターに回収された。
ホウエンに張りめぐらした情報網から、経緯を知った我われは直感した。
その新生命体は、
最強のポケモンになる！…と。
おりしもホウエンは災害による混乱の中、
なんの目的かは知らぬがマグマ団と名乗る女がトクサネ宇宙センターに攻め入って来た。

その機に乗じ、
私は部下と共に
宇宙センターに潜入、
新生命体の
奪取に成功した
というわけだ。
戦闘艇内の研究室で
新生命体は
成長を続けた。
弐
壱
2匹は、
外観もですが…、
能力にも大きな差が
出ていますね。
また、
「念視能力」を
備えており、
遠くはなれた
場所にある存在も
明確に認知できた。
サカキ様。
もし、この生命体が
ポケモンとして
完全変異をとげ、
さらにそれを
我われが
手なづける
ことができたなら、

きっと
ご子息を見つけ出す
強力な手立てに
なるでしょう。
リョウ中隊長、
ケン中隊長、
ハリー中隊長。
サカキ様と
我われ三獣士は
まだホウエンで
すべきことがある。
この2つの個体と共に
先にカントーのアジトへ
戻ることを命じる!
ハ、ハイ!
おい!
何か様子が
変だぞ!!
サキ大隊長に、
報告だ!!
ブル
ブル
ブル

なに!? 外観が変化した?
ハイ! ホウエンを発つころから形状維持が不安定になり、
カントーに入ったとたん完全に変化したんです!
ホウエン地方
カントー地方
それに合わせて、能力も変化。
これで確認されたのは4形状。
形態Aは非常に素早く、
形態Bは攻守速すべてのバランスがよく、
形態Cは攻撃能力にひいで、
形態Dは防御力の高さに目を見張るものがある。

我われはそれぞれの形態にスピード、ノーマル、アタック、ディフェンスと名づけた。
ホウエンではノーマルとスピードが安定した状態で現出。
カントーではアタックとディフェンスが安定した状態で現出。
今は2体ともアタックになっています。
実に…、実に不思議なポケモンだ。
この現象によって我われは各フォルムが「土地」や「風土」に影響されるという事実をつきとめた。
…逆に、条件さえ整えてやれば1つの個体が自由に4形態をとることも可能かも。
う…うわあ…!!!
カタ…
どうした?おまえたち!!

に…2体のうち1体が…、
カプセルを破って外へ…!!!
フウ…。
やはり、あの3人には荷が重過ぎたか。
報告を受けカントーへ戻った我われが見たのは破壊しつくされたアジトの惨状だった。
保管庫にあった様ざまな細胞サンプルやエネルギーを帯びた石も、手当たり次第破壊されましたね。
……。

逃走した1体はどこへ？

4の島と5の島の間にある、「誕生の島」を根城にしているようです。

こいつらはまだ未完成の生命体だ。

逃げたほうは完全な誕生をむかえるべく、自ら準備に入ったのかもしれん。

「誕生の島」か。デオキシスがポケモンとして覚醒するにはうってつけの場所だな。

ああ。マサラタウンでのおまえたちへの奇襲。

シーギャロップ号船上でのブルーの両親のら致。いずれも「個体・壱」によるものであり…、

ちょっと待て！おまえたちは逃げたデオキシスを再び捕獲したかったんだろ!?

オレを怒らせることとどう関係がある!?

わからないか？レッド。
その烈しい怒りに呼応し、やってくるじゃないか。
仲間想いのおまえは友人を襲う脅威に当然怒る。自分のこと以上に烈しく。
「個体・弐」が。
……!!
レッドよオレはレッドだ。
…もしかして…
オレひとり…だったのか？
デオキシスと引かれ合っていたのは、
オレひとりだったのか!?

捨てたさ。

不安定な状態で酷使したからか、

すっかり使いものにならなくなってね。

より強い個体を
再捕獲するため
1匹を捨て石に!!
…でもあの
ロケット団の
女の人は、
肝心なことを
語ってない。

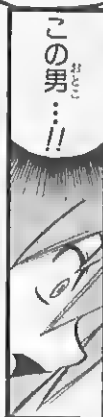
デオキシスが
「オレはレッドだ」
と言った…、
本当の
意味を…!!!

こ、ここは？

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

ここは…、
どこだ?
それに…この格好…、
…そうだ!
…オレはトキワの森でロケット団と戦い…そして…!!
我らが首領、サカキ様…。…そう。
貴方の父君ですよ、シルバー様。
この男…!!
トキワのジムにあった銅像と同じ顔…!!
…サカキ…!!
オレの…、

……父!!
この男が…、
オレの…父…!!

…そうか…。
…そういうことだったのか…。
なぜ、オレが「マスクド・チルドレン」に選ばれたのか?
仮面の男が何を基準に「マスクド・チルドレン」を選んだのか?
何度も考えてみた。ブルーねえさんが仮面の男に直接聞いてみたこともあつた。
それを知ってどうする?
…だが、そんなに知りたいのなら教えてやろう。
ひとつは性別…、男女はそれぞれ3人ずつ。
ひとつは年齢、若いうちから鍛えていく。ただし、同年代では結束する危険がある。6人の年齢は3歳きざみ。
17歳、
14歳、
11歳、
8歳、
5歳、
2歳。

そして今ひとつは…、
出身地と…天賦の才!!
フフフフ、あいつなぞはその最たるもの。
生まれついてのエリートだ!!
……知っていた。
仮面の男・ヤナギは知っていたんだ!!
オレの年齢も出身地も…、サカキの息子であるということも…!!
お迎えにあがりました。
ロケット団も…サカキもオレを探していた。
こんな服まで…。オレを組織の後継者にでもするつもりか…!
知っていたからこそホウオウにオレをさらわせたんだ!!

オレが
サカキの血を引くから…、
サカキの力を継ぐから。

…フ…、
フフフフ。

同じだ。
…結局。

これが
現実だ…。
ニューラ。

恥ずかしい話だが…、
何度も夢に見てきた。
オレも…
ブルーねえさんのように
両親に再会し、
本当の家に帰ることを…。

そこは
あたたかく、
太陽の光に
つつまれて、

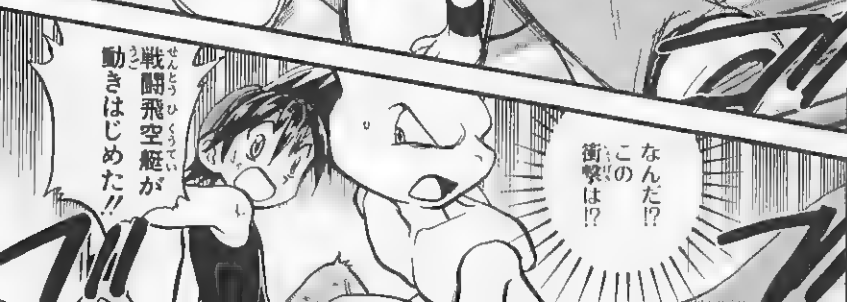
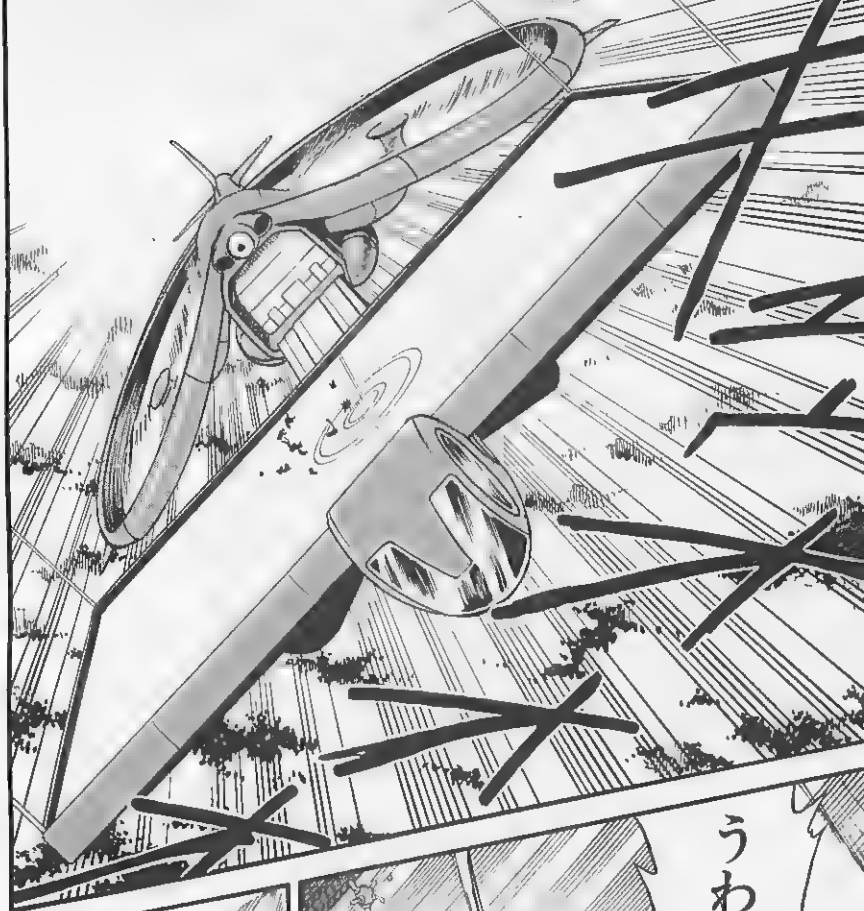
よくなついた
ポケモンたちが
気ままに…
楽しそうに遊び、
笑い声が
ひびいているんだ。

アイツの家が
そうだったように…。

…しかし、それはしょせん「夢」だったんだ、
どれほど強く外の光の世界を望もうとも…、
闇は容赦なくオレを引き戻そうとする。
どうあがいてもオレが表の世界で生きることを許さない!!
…それが「現実」だということはわかった、闇の世界で生きつづけるのが運命だということも。
……だが…、
この男を敬い…慕い…、抱きしめられるかはまた別…!
ポケモンを使い、悪事を働く秘密結社ロケット団。
そんな巨悪を組織した男をオレは…、

父として受け入れられない。
……シルバー…。
うん？
なんだ？
そのけげんそうな顔は？

「デオキシスが言った
「オレはレッドだ」の
意味は語られてない」、
そう言いたいのか？
フンフフフフ。
だが、私は真実を
すべて伝えたぞ。
理解しきれなかった
と言うのなら
今一度
読みとってみたら
どうだ？
イエローの
能力でな。
フンフフフ、
それを
知ったところで
何も変わらないぞ。
サカキ様のご子息は、
デオキシスの能力に
よって見つけ
確保した。
我われの作戦は
すでに完遂した。
オウカ、
お2人は
同じ部屋に？
ゲヘッゲヘッ、
もちろんなんだな。

すばらしい！今頃、お2人ともお目覚めになって…、

感動の再会なんだな!!

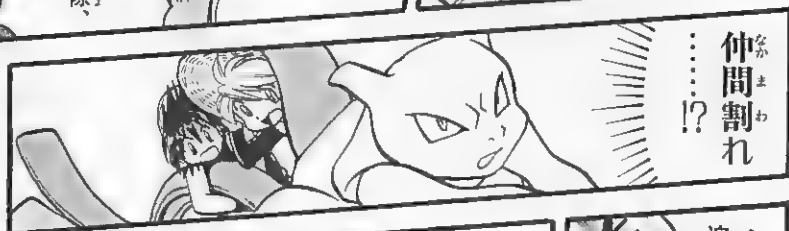
なんだ!? この衝撃は!?

戦闘飛空艇が動きはじめた!!

うわあああ!!!
むん!!

大丈夫か!?
あ、
ああ!!
これもヤツらの
作戦か!?
いや…!!
ヤツらに
とっても
不測の事態の
ようだ!

どういうことだ、
オウカ!?
艇の操縦は
自動システムに
よって
完璧に…!!
何者かが艇を
ジャックした
のか…!!
もしや…!?
そうじゃん…!
この
オレじゃん。

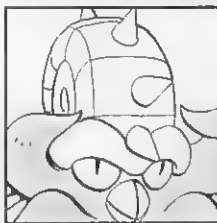
おのれ、チャクラ!!
どうやって荷室から抜け出した!?
オレを誰だと思ってるじゃん!?
「Ｒ」をはじめロケット団のコンピューターを管理してきたオレ様じゃん!
あの程度のキーロックの解除、楽勝ですから!!
仲間割れ……!?
レッドたちを追いつめた!?
ボスが息子と感動の再会!?
オレを無視して…、
めでたしめでたしなんて勝手は、許しませんからっ!!

ロケット団次期首領はこのオレ!!!
ボスも息子もレッドもサキも、何もかも、ぶっつぶれちまえばいいじゃあああん!!!

イエローチームのポケモン2

オムすけ／オムスター♂

いわ
みず

LV.?? (第297話現在)
特性：すいすい
すなおな性格

イエローがカスミから譲り受けたオムナイトがスオウ島で進化、カントー四天王との対決で活躍した！

ゴロすけ／ゴローニャ♂

いわ
じめん

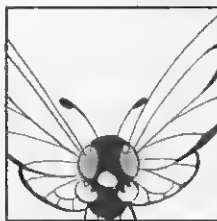
LV.?? (第297話現在)
特性：がんじょう
きまぐれな性格

タマムシでタケシからもらったポケモンが進化しゴローニャへ。"とっしん"などパワフルな攻撃が持ち味。

ピーすけ／バタフリー♂

むし
ひこう

LV.?? (第297話現在)
特性：ふくがん
ゆうかんな性格

イエローが助けたキャタピーが後にバタフリーに進化。イエローの背中をつかんで飛行する姿が印象的。

TEAM YELLOW

●第298話●

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

おのれ、
チャクラ…!!

なんとか…、
操縦席まで
たどりつかねば…。

お…、
おおおお…!!

オウカァ!!

ぐうぁあああ!!

あれは…、

戦闘艇のリモコン…!
ヤツらが持っていたのか!!

ペルシアン、"どろぼう"!!

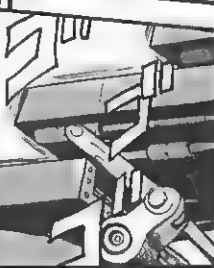
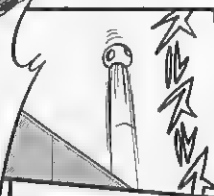
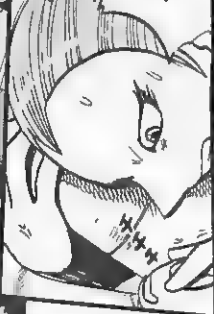
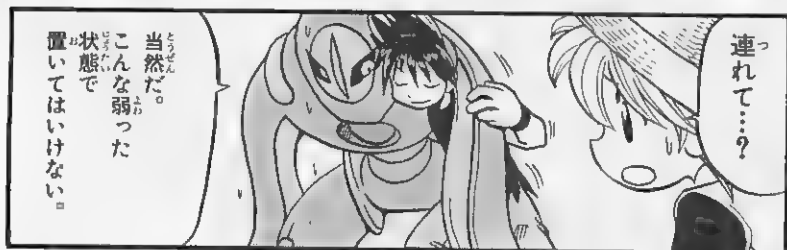
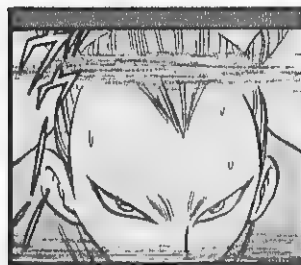
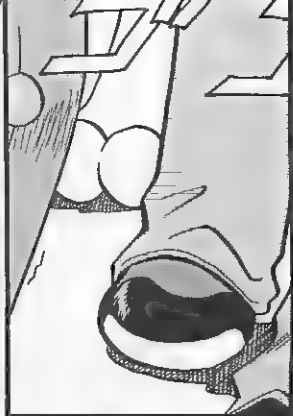
闘技場モード解除!!
地上に激突する前に、この戦闘艇をうばい返す!!!

行こう！ミュウツー、チャクラのいる操縦席へ!!

うむ。

くそっ!!
ガキ
ガキ
ここだ!

開くわけないじゃん、
バーーカ!
きっひっひ。
ドン
ドン

闘技場モードを
解除したからって
安心…と思ったら、
大間違いですから。

操縦席をこのボクが押さえている以上、外からはどうしようもない。わかっているよね、サキ。
チャクラ、おまえのそういう単純すぎるところが立場を悪くしたのだぞ。

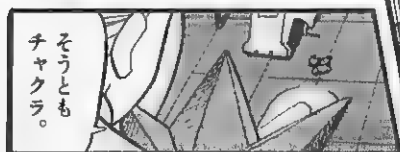
おどしたってムダですから。ボクが、R団の、次期首領になる!!おまえら全員を消し去って!!

どうかな?

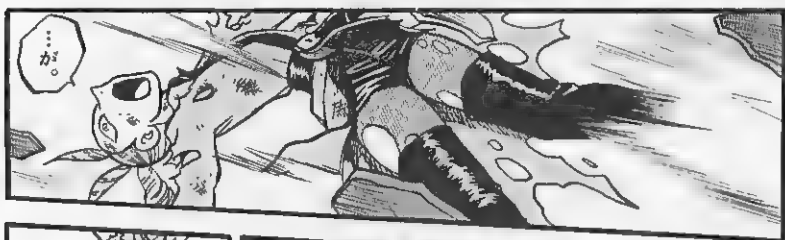
チャッ

ス…、

スタ…、

…サ、サキのスターミー…、〝ほごしょく〟で壁に同化しながらここまで入りこんでいたのか!!
そうともチャクラ。
ようやくサカキ様がご子息と再会を果たしたこの佳き日に…、
おまえの勝手ですべてを台無しにされてたまるか!!
さすがじゃん。
…でも、
化かし合いなら、
こっちが上ですから。

…が。

ゴゴゴ
ゴゴゴ

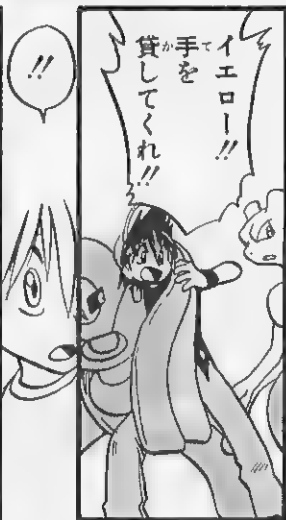
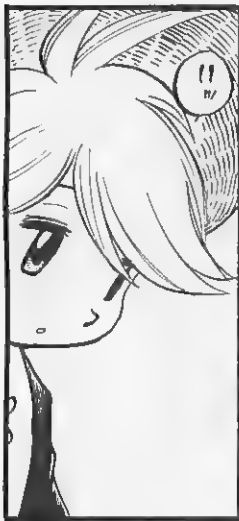
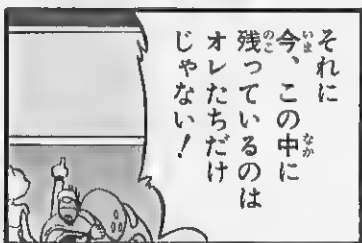
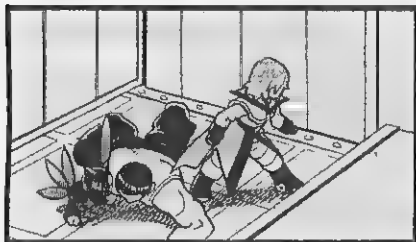
きひひ。
フォレトスの〝だいばくはつ〟じゃん。

この艇内のいたるところにあと10匹のフォレトスがひそんでるじゃん。
全匹"だいばくはつ"の命令を受けて…。
無事着陸させようとしたって…、
いわば、この艇は時限爆弾がセットされたも同然！
10分もしたら、すべてがこっぱみじんじゃん！
意味なーし、で・す・か・らっ!!!
今の話を聞いただろう、レッド！すぐに脱出しよう!!
ダメだ！

脱出したって
この戦闘艇は
どうなる!?
フォレトスという
時限爆弾を
かかえたまま
もし、どこかの
町に落ちたら…、
どんな惨事に
なるか…!!

それに
今、この中に
残っているのは
オレたちだけ
じゃない!

イエロー!!
手を
貸してくれ!!

!!
イエロー!!
すー
すー

!!

は!!
ご、ごめんなさい
レッドさん!!
つい
うっかり…。
イエローは
連続して
癒しの力や
ポケモンの読心を
行うと、つかれて
急激な睡魔に
おそわれる。
…もしかすると…!
ぺしぺし
今一度
読みとって
みたら
どうだ?
イエローの
能力でな。
サキは
それを知っていて、
イエローを
疲れさせるために
わざと…!!
町に落とせない
という話も
わかるが、
では
どうするのだ、
レッド。

あああああ

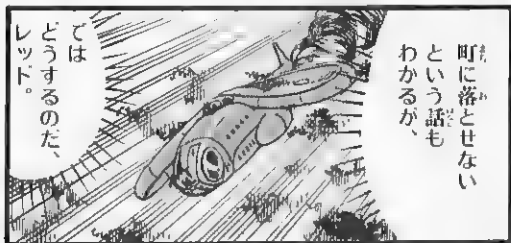
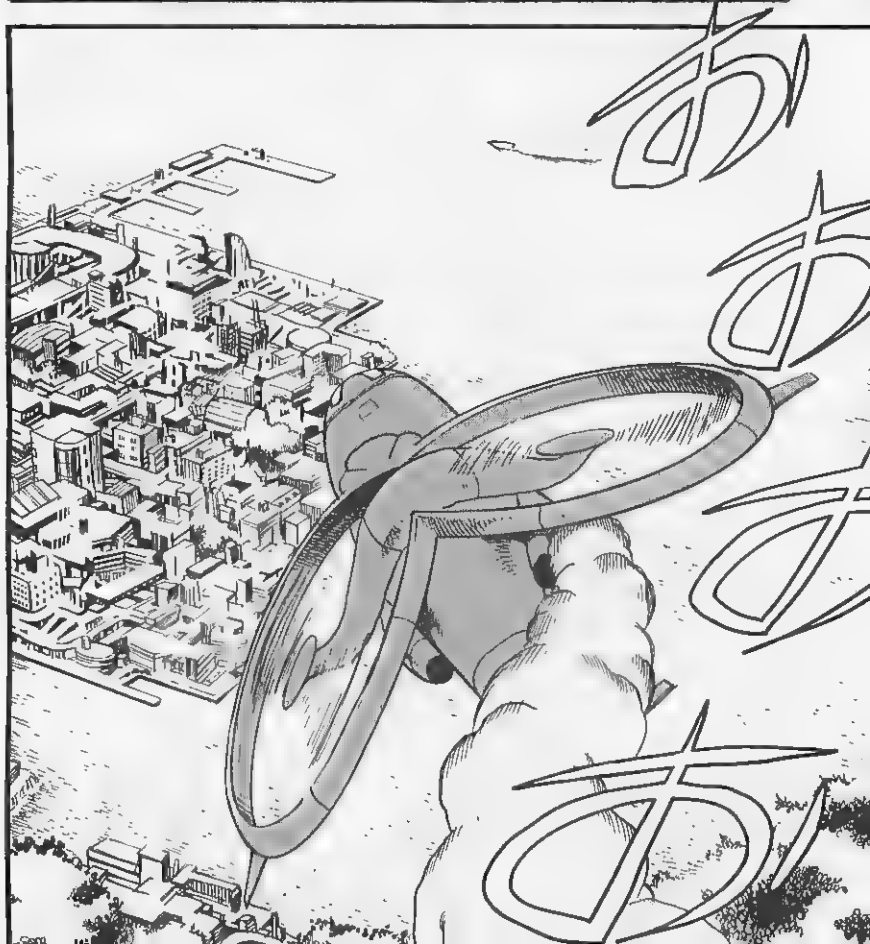
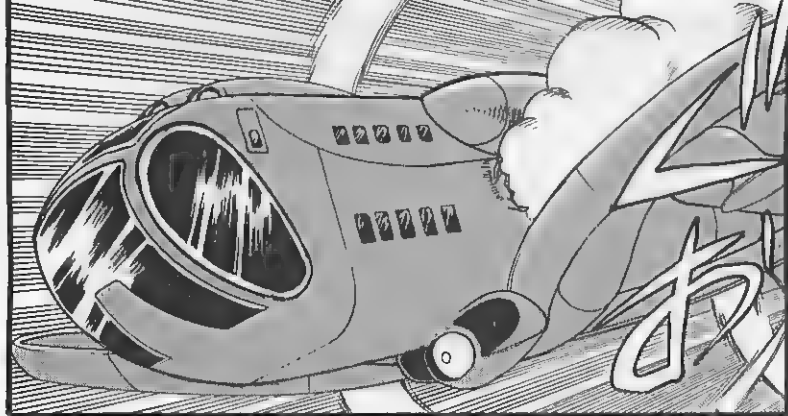
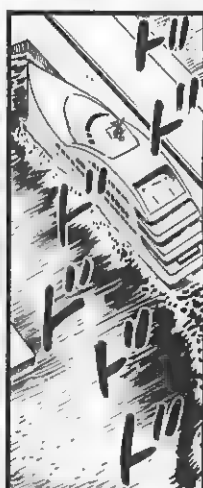
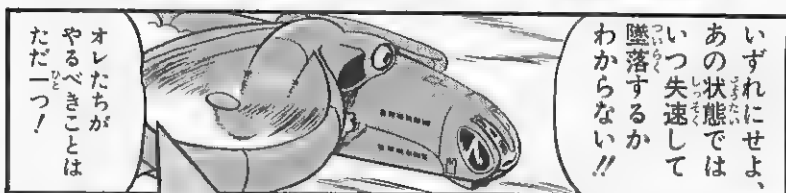
あれは!!
SAFARI

黒煙を噴く巨大飛行艇!!
今にも墜落寸前じゃないか!!
クチバ方面ニ向カッテルヨーッ!!

むほっ!!
これはいったいどういうことじゃ!!

ドドドドドドド

ドルウウン

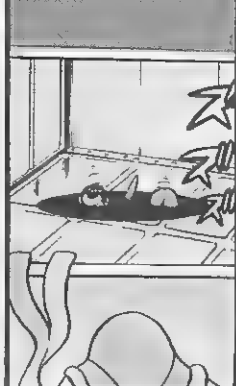
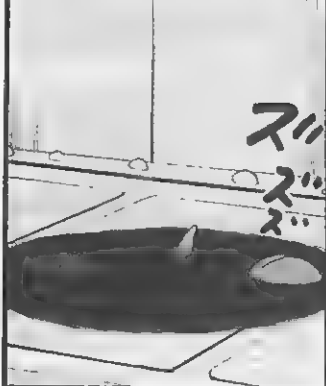
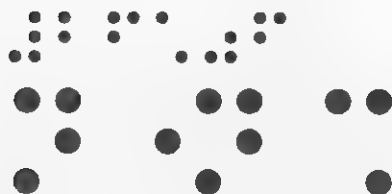
クチバ港到着!!
接岸しました!!

ゴオン
ゴオン
…ふむむ！
グリーン、
あの戦闘艇は……!!
ああ！
間違いない!!
オレたちが追っていた
R団の戦闘艇だ!!
ラジオでも
放送している。
緊急ニュース…
カ…キワ上空で
確認され……、
大型飛行艇は
迷走状た…
ガビ…入り…
現在クチバ
上く…ビビ。
レッドと
ミュウツーが
戦闘艇を追い
デオキシスと戦った。
そして、そこで
何かが起きた…!!

いずれにせよ、
あの状態では
いつ失速して
墜落するか
わからない!!

オレたちが
やるべきことは
ただ一つ！

被害を
くい止めること!!!

今、おまえに同じことはできるか？

コク

よし！だったら頼む！彼らに同じことをしてやってくれ!!

安心しろよ、ブルーの両親も無事だったろ? 闇の真空は「入り口」。デオキシスが安全な「出口」まで送ってくれるよ。

そんなことを聞いてるんじゃない!

必ず
戻るから
にこっ

レッドォ!!!
レッドさぁん!!

〈ポケットモンスタースペシャル第25巻おわり／第26巻へつづく〉

絆。死闘の果て…。
図鑑所有者たちが得たもの。
第5章
『ファイアレッド リーフグリーン編』
の完結!
SPECIAL vol.26
新天地へ!!!
アリガトウ
レッド

そして――!!
オレはポケモンが好きなんじゃない!!
ポケモンバトルが好きなんだ!!
驚愕の新キャラ登場!!
第6章【エメラルド編】が始動!!!
ホウエンの新施設「バトルフロンティア」で!!
うわああああ!!
ド
超個性的な主人公とブレーンたちがキミを待つ!!
POCKET MONSTERS
戦いは

徹底特集・DNAポケモン!

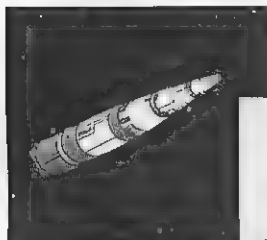
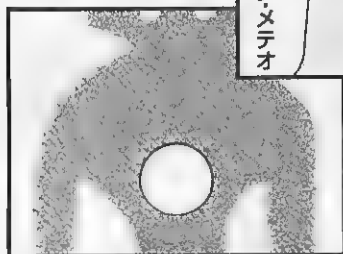
デオキシス 誕生秘話がついに明らかに!!!

謎の能力を数多く持つデオキシス。激戦の中、我々の眼前に示された全貌がここに! これが超宇宙パワーだ!!

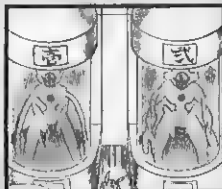
ルーツは宇宙ウイルス!! 隕石とともに地球へ…!!!

トクサネ宇宙センターから発射されたロケットが、宇宙空間でウイルスを発見、調査を開始。調査中に浴びせられたレーザー光線によりウイルスは突然変異を起こす! 新生命体へと変化すべく……!!

1 誕生

新生命体は隕石"グラン・メテオ"に付着し地球に到達。トクサネ宇宙センターで回収、保管されていた!

▲ウイルスを発見、レーザーを照射した探査船。

◀▲隕石は学者・ソライシの手に。一方ウイルスは炉を中心に四肢を形成。

●新生命体へと成長したのは2体!!

▼まだまだ未完成の2体。ロケット団戦闘艇内で成長。

センターでポケモンへと成長しつつあった新生命体は2体。これらはR団に強奪されデオキシス壱・弐と呼称される。弐が後に逃走。

デオキシスFILE

D計画の詳細を凝縮したR団の報告書。

三獣士・サキ

デオキシス研究の中心。真相を語る。

2 形態

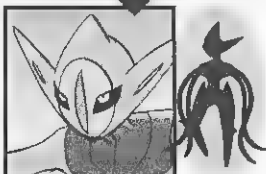
デオキシスはその姿を複数の形態に変化させることが調査中に判明。各々の形状で外観と能力が大きく異なる。

3 変化

さらに変化は「土地」「風土」から影響を受け起こることもわかった。移動中に変化が始まったのはこのためだ。

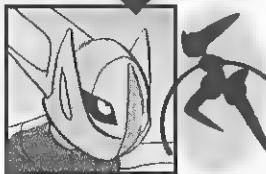
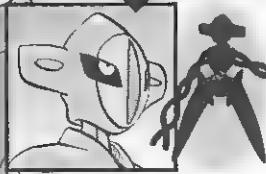
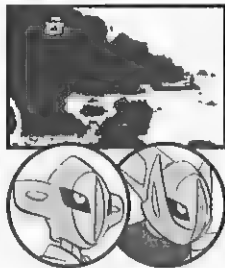
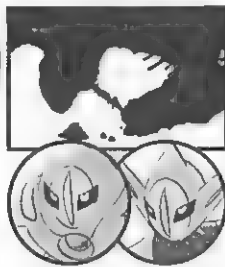
4 再捕獲

逃走した個体・弐。この個体を再捕獲するために全ての計画が進行していた。傷を癒す機を狙いサカキが迫る!

アタックフォルム 攻撃型

ディフェンスフォルム 防御型

スピードフォルム 速攻型

ノーマルフォルム 全方位型

▶宝珠が砕け残った原石。これらを磨きホウエンの風土をカントーに現出させる試みも。

ホウエン地方

カントー地方

▲カントー、ホウエンでそれぞれ異なる2形状。他の地方ではどうなるのか…。

DNAポケモンデオキシス!!

これが本当の誕生だ!!

▲▶捕獲で使用されたR団製特殊モンスターボール。

●誕生の島とは!?

6の島の南方に位置する小さな孤島。ここがデオキシス個体・弐の逃走後の拠点となった!

▲レッドとの戦闘後もまっすぐこの島へ。

5 能力・技

デオキシスは、宇宙から誕生したDNAポケモンだからこそ成せる特殊な能力や強力な技を多数身につけている。

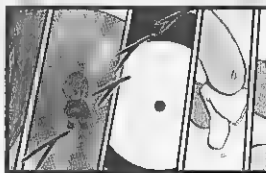
念視

物体に触れただけで、その所有者がどこにいるのか、遠く離れた場所でも探し出すことができる能力。

▲シルバーの所在を瞬時に察知

拳

ノーマルフォルムは腕を触手と拳とに使い分ける。あらゆる間合いに対応するバランス型ならではだ!

▲近距離では拳を用いた格闘を

最強技"サイコブースト"

デオキシスだけが使用できる最強の必殺技。この一撃でレッドチームは完全な敗北を喫することとなった。

▲圧倒的破壊力。「威力140」

闇の真空

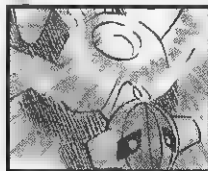
異空間につながる闇を作り出し、目標の獲物を奪い取ることができる能力。あらゆる場所に形成が可能。

▲突如出現した闇に飲まれる

分身体

分身を大量に作り出し遠隔操作。個個の戦闘力は低いものの膨大な数は相手を圧倒する。

▲埋め尽くす分身が行く手を阻む

三角形防御壁

つつみこむ三角形の内部で自らのパワーを上げると同時に外敵から身を守る。移動も可能。主に回復時に使用。

▲別名「動き回る防御壁」

幻惑

体の前にオーロラを現出させ違うフォルムを相手に見せる能力。戦いに精通した相手にこそ有効な高度な戦法。

▲ノーマルに見えて実はアタック

●デオキシスの運命は…!?

敗北し、4形態変化能力も失ったデオキシス。だがその宇宙パワーを狙う者は多い。今後は果たして…。

第5章 移動経路

クチバシティから旅立ち、ナナシマ全島を舞台に繰り広げられた「デオキシス事件」。その移動の様子をMAPで追ってみよう。

クチバシティから

1の島　船内でブルーがデオキシス（個体・壱）に襲われ1の島で入院。

2の島　キワメの修行、究極技を仮習得。

3の島　デオキシス（個体・弐）出現。

4の島　カンナの故郷・三獣士登場。

R団の一斉攻撃開始。レッドたちも3島にわかれて応戦。

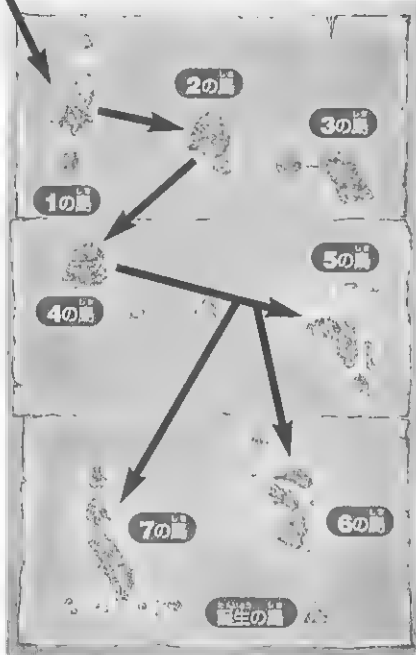
5の島　●レッド 対 チャクラ○

6の島　○グリーン 対 オウカ●

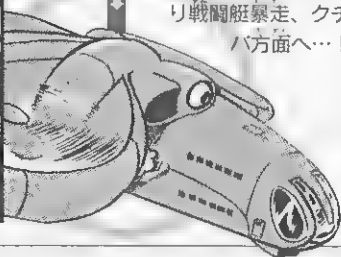
7の島　●カンナ 対 サキ○

誕生の島で疲れを癒すデオキシス（個体・弐）をサカキが捕獲。

7の島　トレーナータワーで再戦。

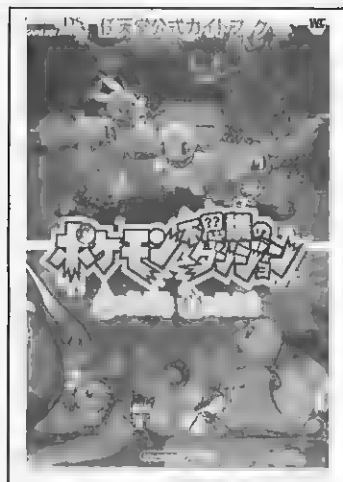
移動するサカキらを追ってトキワへ。

トキワシティ

空ではレッド対サカキ、地上ではシルバーとイエローが再会。

チャクラの反乱により戦闘艇暴走、クチバ方面へ…！

くわしい!! わかりやすい!!

ポケモンガイドブックは小学館

任天堂公式ガイドブック
ポケットモンスター ダイヤモンド・パール ぼうけんマップ
定価840円
[本体800円]

任天堂公式ガイドブック
ポケットモンスター ダイヤモンド・パール ぜんこくずかん
定価1000円[本体952円]

てんとう虫コミックススペシャル　「小学四年生」「小学五年生」連載作品

ポケットモンスタースペシャル

2007年4月2日　初版　第1刷発行　(検印廃止)

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ
©2007 Pokémon
©1995-2007 Nintendo／
Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
発行者　黒川和彦
印刷所　三晃印刷株式会社
PRINTED IN JAPAN

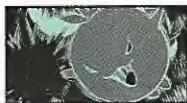
発行所　(〒101-8001) 東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集03(3230)5397
販売03(5281)3556

株式会社 小学館

ISBN978-4-09-140329-2

編集／藤田健一　編集協力／長澤優美子・笠原 宙（十八VAN PLANNING）
本文デザイン／瀬川真由美・高野 册

ナナシマからトキワへ、
舞台を移して続く超決戦！　ついにサカキと
レッド、５年振りの直接対決が始まった！
一方シルバーに、三獣士サキの口から
告げられるのは『父の名』…！
息をのむ戦慄の展開、第５章のクライマックスが
おとずれる………!!!

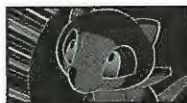
ポケットモンスター SPECIAL 25

第288話

第289話

第290話

第291話

第292話

第293話

第294話

第295話

第296話

第297話

第298話

ISBN978-4-09-140329-2

C9979 ¥438E

定価：本体438円＋税

雑誌 45213-29　　小学館

ナナシマからトキワへ、
舞台を移して続く超決戦！　ついにサカキとレッド、５年振りの直接対決が始まった！
一方シルバーに、三獣士サキの口から告げられるのは『父の名』…！
息をのむ戦慄の展開、第５章のクライマックスがおとずれる………!!!